

東濃地科学センター 地層科学研究  
公開文献リスト（2000・2001年度）

2002年7月

核燃料サイクル開発機構

東濃地科学センター

本資料の全部または一部を複写・複製・転載する場合は、下記にお問い合わせください。

〒319-1184 茨城県那珂郡東海村村松4番地49

核燃料サイクル開発機構

技術展開部 技術協力課

Inquiries about copyright and reproduction should be addressed to :

Technical Cooperation Section,

Technology Management Division,

Japan Nuclear Cycle Development Institute

4-49 Muramatsu, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki 319-1184,

Japan

© 核燃料サイクル開発機構 (Japan Nuclear Cycle Development Institute)

2002

## はじめに

核燃料サイクル開発機構東濃地科学センターでは、高レベル放射性廃棄物の地層処分技術に関する研究開発の基盤となる深地層の科学的研究（地層科学研究）を実施している。本冊子は東濃地科学センターにおいて実施している地層科学研究に関する公開文献のリストである。東濃地科学センターでは業務全体を対象とした「東濃地科学センター外部発表集」が1999年12月まで作成されており、本冊子では2000年1月～2002年3月の間の公開文献を対象とした。

公開文献リストの作成にあたっては、東濃地科学センターで登録された公開文献に、本社・他事業所で登録された公開文献で地層科学研究に関連しているものを加えて作成した。また、ここで取り扱う公開文献には、学会・雑誌等で発表された外部発表資料に加えて、サイクル機構で取りまとめた技術資料およびサイクル機構との契約業務の成果報告書である契約業務報告書、研究委託報告書なども含めた。

リストの作成にあたり、文献には年度ごとに著者名のアルファベット順に番号を付した。リストは、年度ごとに番号順に並べたものと、文献をテーマごとに分類したものの2種類を作成した。文献の番号は両者で一致している。なお、テーマは、広域地下水流動研究、超深地層研究所計画、東濃鉱山における調査試験研究、地質環境の長期安定性に関する研究に分類し、地層科学研究全体の概要紹介、ペレトロンなど分析技術に関するもの、他機関との共同研究など前述の4つの分類に分けられないものをその他に含めた。また、複数のテーマにまたがるものは、それぞれのリストに同じ文献を載せている。

## 目 次

### <2000 年>

東濃地科学センター 地層科学研究 公開文献リスト(著者アルファベット順) . . . . .	1
【平成12年1月～平成12年3月】 . . . . .	1
【平成12年4月～平成13年3月】 . . . . .	5
東濃地科学センター 地層科学研究 公開文献リスト(テーマ別) . . . . .	16
1. 広域地下水流動研究 . . . . .	16
2. 超深地層研究所計画 . . . . .	19
3. 東濃鉦山における調査試験研究 . . . . .	23
4. 地質環境の長期安定性に関する研究 . . . . .	27
5. その他 . . . . .	30

### <2001 年度>

東濃地科学センター 地層科学研究 公開文献リスト(著者アルファベット順) . . . . .	33
【平成13年4月～平成14年3月】 . . . . .	33
東濃地科学センター 地層科学研究 公開文献リスト(テーマ別) . . . . .	46
1. 広域地下水流動研究 . . . . .	46
2. 超深地層研究所計画 . . . . .	47
3. 東濃鉦山における調査試験研究 . . . . .	50
4. 地質環境の長期安定性に関する研究 . . . . .	53
5. その他 . . . . .	58

【平成 12 年 1 月～平成 12 年 3 月】

- 1) 200 万分の 1 活断層図編纂ワーキンググループ<sup>1</sup> (2000): 「200 万分の 1 日本列島活断層図」 - 過去数十万年間の断層活動の特徴 - , 活断層研究, 19, pp.3-12 .
- 2) 200 万分の 1 活断層図編纂ワーキンググループ<sup>1</sup> (2000): 200 万分の 1 日本列島活断層図, 活断層研究, 19, 1sheet .
- 3) 阿部 信, 石川 清, 甲斐昌宣 (2000): 地質構造把握のための岩芯観察, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 開発工事株式会社), JNC TJ7440 2000-015 .
- 4) 安部 透, 松井裕哉, 堀田政國, 木下直人 (2000): 坑道掘削に伴う亀裂の透水特性変化に関する基礎実験, 第 30 回岩盤力学に関するシンポジウム講演論文集, pp.268-272 .
- 5) 藤原 治, 鎌滝孝信, 増田富士雄 (2000): 前進型外浜堆積物中の貝殻の起源: 千葉県九十九里浜の完新統の<sup>14</sup>C 年代値, 月刊地球, 22, pp.202-205 .
- 6) 古澤 明, 梅田浩司 (2000): 別府湾コアにおける最近 7000 年間の火山灰層序 - ピストンコア中の火山灰と阿蘇、九重火山のテフラとの対比, 地質学雑誌, 106, pp.31-49 .
- 7) Gautam, M.R., Watanabe, K., and Saegusa, H. (2000): Field experiment and observations of runoff generation processes in a forested mountainous catchment, Tono area, Japan, Annual Jour. Hydraul. Engin., JSCE, 44. pp.127-132.
- 8) 後藤淳一, 中野勝志 (2000): 広域地下水流動研究の現状, 日本原子力学会 2000 年春の年会講演要旨集, p.944 .
- 9) Hama, K., Kunimaru, T. and Amano, K. (2000): Compilation of data from Field and Laboratory Activities (DH-7) May 1997-July 1998. JNC Tech. Doc., JNC TN7450 2000-001 .
- 10) 濱 克宏, 谷口直樹, 本田 明 (2000): 東濃鉱山における工学材料長期浸漬試験 - 金属材料編 - , サイクル機構技術資料, JNC TN7430 2000-002 .
- 11) 濱 克宏, 吉田英一, 青木和弘, West, J.M., Bateman, K., Milodowski, A.E. (2000): 微生物活動による閃緑岩からのスメクタイト生成反応の可能性について - 室内試験結果から - , 日本原子力学会 2000 年春の年会講演要旨集, p.978.
- 12) 畑 浩二, 松井裕哉, 佐藤稔紀 (2000): 大深度地下における AE 法・DRA 法を用いた地圧測定, 第 30 回岩盤力学に関するシンポジウム講演論文集, pp.328-332 .
- 13) 畑 浩二, 大内 一 (2000): 99SE-02 孔のコアを用いた AE 法による初期応力測定, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社大林組), JNC TJ7430 2000-002 .
- 14) 堀田政國, 穂刈利之 (2000): MIU-1, AN-3 号孔における地下水水圧・水質観測装置の設置, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 清水建設株式会社), JNC TJ7400 2000-009 .
- 15) 市川康明, 徐 庸碩 (2000): 長期岩盤挙動評価のための微視的観点による基礎的研究, サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 名古屋大学), JNC TJ7400 2000-003 .

- 16) 池田孝夫, 吉田英爾 (2000): 地質環境データ解析・可視化システム 解析コードの拡張, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社日揮), JNC TJ7400 2000-006 .
- 17) 伊藤 茂, 徐 勝, 阿部雅人, 渡辺雅人, 有我真希, 岩月輝希 (2000): 東濃地科学センターにおけるタンデム型加速器質量分析計の現状, 第 12 回名古屋大学タンデトロン加速器質量分析計シンポジウム (平成 11(1999)年度) 報告, pp.63-33 .
- 18) 岩月輝希, 佐竹 洋 (2000): 鉱物学的アプローチによる地下深部の pH-Eh 環境の解析, 日本原子力学会 2000 年春の年会講演要旨集, p.976 .
- 19) 核燃料サイクル開発機構 (2000): 将来予測研究シンポジウム - 日本列島の過去・現在・未来 - プログラム講演要旨, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2000-003 .
- 20) 核燃料サイクル開発機構 (2000): 核燃料サイクル開発機構東濃地科学センター外部発表資料集 - 1999 年 - , サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2000-005 .
- 21) 加藤春實 (2000): 99SE-02 孔における水圧破碎法による初期応力測定, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 同和工営株式会社), JNC TJ7430 2000-001 .
- 22) 加藤春實 (2000): MIU-3 孔における水圧破碎法による初期応力測定, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 同和工営株式会社), JNC TJ7430 2000-005 .
- 23) 加藤春實 (2000): 深部岩盤における初期応力測定用プローブの製作および耐圧性能試験, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 同和工営株式会社), JNC TJ7400 2000-005 .
- 24) 菊地慎二 (2000): 初期応力測定用解析プログラムの作成, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 日本国土開発株式会社), JNC TJ7400 2000-013 .
- 25) 喜多治之, 佐藤稔紀, 陳 友晴, 西山 孝 (2000): 温度履歴による花崗岩のマイクロクラックの変化, 三井建設技術研究報告, 24, pp.7-10 .
- 26) 喜多治之, 佐藤稔紀, 陳 友晴, 西山 孝, 金子勝比古 (2000): 栗橋花崗閃緑岩の三軸圧縮によって形成されるマイクロクラックの進展, 資源・素材学会平成 12 年度春季大会講演集 ( ) 資源編, pp.69-70 .
- 27) 國丸貴紀, リチャード・メトカーフ (2000): 断層周辺における地下水流動および物質移動について - 東濃地域における月吉断層を例とした研究 - , 日本原子力学会 2000 年春の年会講演要旨集, p.945 .
- 28) 松井裕哉, 前田信行, 吉川和夫 (2000): MIU-2 号孔における力学特性調査結果及び月吉断層上盤側岩体の岩盤力学的概念モデル, サイクル機構技術資料, JNC TN7420 2000-001 .
- 29) 松岡永憲 (2000): 北延 NATM 坑道における間隙水圧計測システムの設置, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 大成基礎設計株式会社), JNC TJ7440 2000-002 .
- 30) 松末和之, 藤原 治, 末吉哲雄 (2000): 日本列島における最終氷期最寒冷期の気候, サイクル機構技報, No.6(2000.3), pp.93-103 .
- 31) 見掛信一郎, 杉原弘造, 永崎靖志 (2000): 超深地層研究所における研究計画と研究坑道設計の考え方, サイクル機構技報, No.6(2000.3), pp.105-113 .
- 32) Mikake, S., Yoshida, H., Koide, K., Yanagizawa, K., Ogata, N., and Maekawa, K. (2000): Methodology development for modeling of heterogeneous conductivity fields for a sandstone type uranium deposit, central Japan, Engin. Geol., 56, pp.185-195.

- 33) 三戸嘉之,猪股隆行,土谷 学(2000): 広域地下水流動研究対象域における DEM(DTM)データの更新と地形解析,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;国際航業株式会社), JNC TJ7440 2000-009 .
- 34) 三輪敦志,高橋奈緒(2000): 岩石薄片の顕微鏡観察,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;応用地質株式会社), JNC TJ7440 2000-014 .
- 35) 永松武彦,池田則生,永井保弘,斉藤正行,工藤 敏,明石孝行,重野未来,川村隆英(2000): 広域地下水流動研究における試錐調査(その3)(DH-10号孔),サイクル機構技術資料(契約業務報告書;三菱マテリアル資源開発株式会社),JNC TJ7440 2001-032 .
- 36) 永松武彦,池田則生,永井保弘,斉藤正行,工藤 敏,明石孝行,重野未来,川村隆英(2000): 広域地下水流動研究における試錐調査(その3)(DH-11号孔),サイクル機構技術資料(契約業務報告書;三菱マテリアル資源開発株式会社),JNC TJ7440 2001-033 .
- 37) 中司龍明,豊島賢治,池田雅俊(2000): 東濃鉱山及び正馬川・柄石川流域の湧水点踏査確認業務,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;基礎地盤コンサルタンツ株式会社), JNC TJ7440 2000-011 .
- 38) 新沼岩保,相澤隆生,伊東俊一郎(2000): 弾性波トモグラフィデータの解析作業,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;サンコーコンサルタント株式会社), JNC TJ7420 2000-006 .
- 39) 西田 薫,前村庸之(2000): 不飽和領域の原位置計測手法の研究,サイクル機構技術資料(研究委託報告書;株式会社ダイヤコンサルタント), JNC TJ7400 2000-004 .
- 40) 野原 壯,郡谷順英,今泉俊文(2000): 活断層 GIS データベースを用いた地殻の歪速度の推定,活断層研究,19, pp.23-32 .
- 41) 大久保誠介(2000): 長期岩盤挙動評価のための巨視的観点による基礎的研究,サイクル機構技術資料(研究委託報告書;東京大学), JNC TJ7400 2000-002 .
- 42) 大里和己,山根一修(2000): 電磁法データの2次元比抵抗構造解析,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;地熱技術開発株式会社), JNC TJ7440 2000-005 .
- 43) 斉藤 庸,坂森計則(2000): 地下水位観測孔の連続地下水位データ整理業務,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;日本工営株式会社), JNC TJ7440 2000-017 .
- 44) 斉藤 庸,坂森計則(2000): 地下水流動解析における検証用データ(河川流量)の推定,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;日本工営株式会社),JNC TJ7400 2000-007 .
- 45) 斉藤 庸,坂森計則(2000): 東濃鉱山及び正馬川流域等の気象観測データと他機関観測データの対比と整理,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;日本工営株式会社), JNC TJ7440 2000-012 .
- 46) 斉藤 庸,坂森計則,石崎俊一(2000): 広域地下水流動解析対象地域における地下水位データ整理業務,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;日本工営株式会社), JNC TJ7440 2000-010 .
- 47) 坂井哲郎,柿田 毅(2000): 東濃鉱山坑内通気網解析,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;三井鉱山エンジニアリング株式会社), JNC TJ7420 2000-002 .
- 48) 真田佳典,渡辺俊樹,藪内 聡(2000): 精密周波数制御連続電磁波調査法の研究 - 先行基礎工学分野に関する研究詳細報告書 -,サイクル機構技術資料,JNC TY7400 2000-001 .

- 49) Sato, T., Kikuchi, T., and Sugihara, K. (2000): In-situ experiments on an excavation disturbed zone induced by mechanical excavation in Neogene sedimentary rock at Tonomine, central Japan, Engin. Geol., 56, pp.97-108.
- 50) 瀬戸政宏, 前田信行, 松井裕哉(2000): 岩盤空洞の安定性に関する評価方法の検討 平成11年度共同研究報告書, サイクル機構技術資料, JNC TY7430 2000-001.
- 51) 下茂道人, 西蔦 望(2000): 不均質等価連続体モデルを用いた広域地下水流動解析, サイクル機構技術資料(契約業務報告書; 大成建設株式会社), JNC TJ7400 2000-008.
- 52) 下茂道人, 西蔦 望(2000): MIU-2・MIU-3号孔間における孔間水理試験の実施, サイクル機構技術資料(契約業務報告書; 大成建設株式会社), JNC TJ7400 2000-011.
- 53) 進士喜英, 狩野裕之(2000): 水理試験により得られる実測データの解析手法の高度化と適用, サイクル機構技術資料(契約業務報告書; 株式会社鴻池組), JNC TJ7400 2000-010.
- 54) 曾根好徳, 細田 宏, 下山昌宏, 永野修一(2000): MIU-2号孔におけるMPシステムの設置, サイクル機構技術資料(契約業務報告書; 応用地質株式会社), JNC TJ7440 2000-008.
- 55) 杉原弘造, 川瀬啓一, 山本純太(2000): 超深地層研究所計画の全体概要, 日本原子力学会2000年春の年会講演要旨集, p.943.
- 56) 鈴木敬一(2000): 連続波レーダー実験機を用いた基礎実験データの取得作業, サイクル機構技術資料(契約業務報告書; 川崎地質株式会社), JNC TJ7420 2000-007.
- 57) 高木俊男, 柳田 誠, 藤原 治, 小澤昭男(2000): 河岸段丘から推定した河床高度変化の歴史, 地学雑誌, 109, pp.366-382.
- 58) 戸井田克, 塩釜幸弘, 渥美博行, 升元一彦, 安井信吾, 阿部泰典, 古市光昭(2000): 地質環境の不均一性評価における統計解析手法の適用性調査, サイクル機構技術資料(契約業務報告書; 鹿島建設株式会社), JNC TJ7440 2000-006.
- 59) 遠山茂行, 岡崎彦哉, 和知 剛(2000): 雨水・河川水の採取・分析, サイクル機構技術資料(契約業務報告書; アジア航測株式会社), JNC TJ7420 2000-005.
- 60) 遠山茂行, 若松尚則, 岡崎彦哉(2000): 正馬様用地における地下水位計の設置, サイクル機構技術資料(契約業務報告書; アジア航測株式会社), JNC TJ7440 2000-018.
- 61) 遠山茂行, 若松尚則, 岡崎彦哉(2000): テレメータ集中管理システム用機器の設置, サイクル機構技術資料(契約業務報告書; アジア航測株式会社), JNC TJ7440 2000-019.
- 62) 遠山茂行, 若松尚則, 岡崎彦哉(2000): データ回収・処理ソフトウェアの作成, サイクル機構技術資料(契約業務報告書; アジア航測株式会社), JNC TJ7440 2000-020.
- 63) 豊蔵 勇, 橋井智毅, 名越澄生, 伊藤 孝, 杉森辰次, 杉田信隆, 政枝 宏(2000): 正馬様用地における試錐調査(MIU-3号孔), サイクル機構技術資料(契約業務報告書; 株式会社ダイヤコンサルタント), JNC TJ7440 2000-022.
- 64) 梅本和裕, 篠田繁幸, 藤原 協(2000): リニアメント周辺の地質構造調査, サイクル機構技術資料(契約業務報告書; 国際航業株式会社), JNC TJ7440 2000-016.



- 65) 渡辺俊樹,高瀬嗣郎(2000): 弾性波フルウェーブインバージョンの実データへの適用性に関する研究, サイクル機構技術資料(研究委託報告書; 京都大学), JNC TJ7400 2000-001 .
- 66) 薛 自求(2000): DSCA 法を用いた土岐花崗閃緑岩の異方性に関する室内試験, サイクル機構技術資料(契約業務報告書; 基礎地盤コンサルタンツ株式会社), JNC TJ7430 2000-003 .
- 67) 八野祐二,中司龍明(2000): 屈折法弾性波探査におけるインバージョン解析と統計的速度区分, サイクル機構技術資料(契約業務報告書; 基礎地盤コンサルタンツ株式会社), JNC TJ7440 2000-004 .
- 68) 吉添 誠, Dershowitz, W. (2000): SKB TRUE Block Scale 試験における解析作業の実施, サイクル機構技術資料(契約業務報告書; 三菱商事株式会社), JNC TJ7400 2000-012 .
- 69) 湯佐泰久(2000): 放射性廃棄物処分研究と地質学の役割, 日本地質学会第107年総会・討論会講演要旨, p.10 .

<sup>1</sup>200 万分の1 活断層図編纂ワーキンググループ: 中田 高, 東郷正美, 今泉俊文, 渡辺満久, 堤 浩之, 千田 昇, 奥村晃史, 宮内崇裕, 鈴木康弘, 岡田篤正, 松田時彦, 隈元 崇, 野原 壯, 郡谷順英, 佐々木達哉, 三輪敦志, 高橋奈緒 .

#### 【平成12年4月～平成13年3月】

- 70) Alexander, W.R., McKinley, I.G., Ota, K., Möri, A., Frieg, B. and Kickmaier, W. (2000): The study of in situ radionuclide retardation in the geosphere: Examples from Nagra's Grimsel Test Site, Switzerland. Proc. 5th International Conference on Nuclear and Radiochemistry, Pontresina, Switzerland, 3-8 September 2000.
- 71) 安藤雅孝, 活断層研究チーム<sup>2</sup>(2000): 跡津川断層帯での地殻活動研究, サイクル機構技報, No.9(2000.12), pp.131-141 .
- 72) 浅井和見(2001): 雨水・河川水の採取・分析(平成12年度), サイクル機構技術資料(契約業務報告書; 株式会社地球科学研究所), JNC TJ7440 2001-017 .
- 73) 吾妻瞬一, 北川有一, 脇田 宏(2000): 岐阜県土岐市の東濃鉦山周辺で行っている地殻内部の多成分連続観測について, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ai-011 .
- 74) 藤原 治(2000): 日本の海成段丘アトラスの作成, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Qa-P007 .
- 75) Fujiwara, O., Masuda, F., Sakai, T., Irizuki, T. and Fuse, K. (2000): Tsunami deposits in Holocene bay mud in southern Kanto region, Pacific coast of central Japan. Sed. Geol., 135, pp.219-230 .

- 76) Fujiwara, O., Nakatsuka, N., Nohara, T., Ishimaru, T. and Umeda, K. (2000): Long-term stability of the geological environment in Japan. Proc. 2000 Joint Workshop on HLW Management between Korea and Japan, Taejeon, Korea, November 6-7, 2000.
- 77) Gautam, M.R., Saegusa, H., Kaizuka, T. and Watanabe, K. (2000): Runoff characteristics of two sub-catchments in Tono area, 土木学会第55回年次学術講演会, II-90.
- 78) Gautam, M.R., Watanabe, K. and Saegusa, H. (2000): Runoff analysis in humid forest catchment with artificial neural network. Jour. Hydrol., 235, pp.117-136.
- 79) 濱 克宏 (2000): 東濃鉦山における工学材料長期浸漬試験 - 地質環境編, サイクル機構技術資料, JNC TN7430 2001-001.
- 80) 濱 克宏, 三ツ井誠一郎, 青木里栄子, 広瀬郁朗 (2000): 東濃鉦山における工学材料長期浸漬試験 - ガラス材料編, サイクル機構技術資料, JNC TN7430 2000-001.
- 81) 濱 克宏, 中野勝志 (2000): 地下水の地球化学特性調査技術開発 (東濃地域を例として), 地球惑星科学関連学会 2000年合同大会予稿集, Ac-P004.
- 82) 濱 克宏, 徐 勝, 岩月輝希 (2000): サイクル機構における加速器質量分析計の運転状況, 日本放射化学会誌, 別冊 1 Supplement 2, p.155.
- 83) 濱 克宏, 吉田英一, Bateman, K. (2000): 微生物が触媒する閃緑岩からのスメクタイト生成反応の可能性について, 地球惑星科学関連学会 2000年合同大会予稿集, Mc-006.
- 84) Harrington, J.F. and Horseman, S.T. (2000): Stress-sensitivity of the hydraulic properties of a clay-bearing fault gouge from the Tsukiyoshi Fault, Tono Mine, central Japan. JNC Tech. Rep. (Work performed by British Geological Survey under contract with JNC), JNC TJ7400 2000-016.
- 85) 長谷川健 (2000): DH-10号試錐掘削ならびに調査研究結果速報, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2000-009.
- 86) 長谷川健, 杉原弘造, 武田精悦 (2000): 地下深部における地質環境の研究 - 広域地下水流動研究および超深地層研究所計画 (地表からの研究段階) について, 地球惑星科学関連学会 2000年合同大会予稿集, Ac-011.
- 87) Hashem, M., Mohamed, A.A., Watanabe, K., Ali, N.A., Mohamed, A.A., Abdel-lah, A.K. and Saegusa, H. (2000): Grain size effect on both saturation and pollutant migration, 土木学会第55回年次学術講演会, III-B359.
- 88) 畑 浩二, 丸山 誠, 鳥井原誠 (2001): 土岐花崗岩中の割れ目を対象としたジョイントせん断試験, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社大林組), JNC TJ7430 2001-002.
- 89) 林信太郎, 梅田浩司, 棚瀬充史, 二ノ宮淳 (2000): 両白山地, 最近300万年間の火山活動の時空分布, 日本地質学会第107年学術大会講演要旨, p.170.
- 90) 林信太郎, 梅田浩司, 酒寄淳史, 棚瀬充史, 二ノ宮淳 (2000): 両白山地の鮮新 - 更新世火山活動の時空分布, 地球惑星科学関連学会 2000年合同大会予稿集, Va-P016.
- 91) 平賀忠行, 今井保行 (2001): 岩石用長期クリープ試験機的设计・製作, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社丸東製作所), JNC TJ7410 2001-001.

- 92) 櫛原 昇, 松井裕哉, 三枝博光, 今井 久, 雨宮 清 (2000): 地下空洞周辺岩盤を対象とした浸透流解析における境界条件設定方法に関する提案, 土木学会第 55 回年次学術講演会, III-B171.
- 93) Horikawa, Y., Komuro, K. and Toyoda, S. (2000): Radiation-damage halos in quartz: A geodosimeter for natural radionuclide retention. 2000 Western Pacific Geophysics Meeting, Eos, Trans., Amer. Geophys. Union, Suppl., 81, WP255, V52A-15, American Geophysical Union.
- 94) 堀川循正, 小室光世, 豊田 新 (2000): ウラン鉱床中石英の放射線損傷の研究(1) - 照射実験試料とウラン鉱石の CL 観察, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ma-P005.
- 95) 堀田政國, 穂刈利之 (2001): AN-1 号孔における地下水水圧・水質観測装置の設置, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 清水建設株式会社), JNC TJ7440 2001-018.
- 96) 市川康明 (2001): 長期岩盤挙動評価のための微視的観点による基礎的研究 (平成 12 年度), サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 名古屋大学), JNC TJ7400 2001-002.
- 97) 井尻裕二, 鈴木俊一, 大石雅也, 杉原 豊, 下茂道人, 西嶋 望, 文村賢一 (2001): 水理地質構造モデル化手法及び地下水流動解析手法の不確実性評価, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 大成建設株式会社), JNC TJ7400 2001-007.
- 98) 今井 弘, 三輪夕子 (2000): MP システムによる地下水の採水・水圧計測, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社ペスコ), JNC TJ7440 2000-003.
- 99) 今井 久, 雨宮 清, 松井裕哉, 林 為人, 前村庸之, 櫛原 昇, 石原輝行 (2000): 電磁波伝搬特性を利用した水分量計測に関する人工地盤試験, ハザマ研究年報(2000.12), pp.47-55.
- 100) 稲垣隆二, 下山昌宏, 中村哲久, 竹村聖吾, 永野修一 (2001): 明世地区表層水理研究試錐調査, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 応用地質株式会社), JNC TJ7440 2001-011.
- 101) 石丸恒存, 郡谷順英, 中司 昇, 鈴木元孝 (2000): 長期安定性評価を目指した「地質環境データベース」の構築, 応用地質学会中部支部平成 12 年度支部研究発表会講演予稿集, pp.31-36.
- 102) 伊藤 茂, 徐 勝, 阿部雅人, 渡辺雅人, 有我真希, 岩月輝希 (2000): 東濃地科学センターにおけるタンデム型加速器の現状, 第 13 回タンデム加速器およびその周辺技術の研究会報告書, pp15-17.
- 103) 伊藤 茂, 徐 勝, 阿部雅人, 渡辺雅人, 有我真希, 岩月輝希 (2001): 東濃地科学センターにおけるタンデム型加速器の現状, 第 3 回 AMS シンポジウム, pp.42-45.
- 104) 岩月輝希, 村上由記, 長沼 毅, 佐竹 洋 (2000): 硫黄同位体比にもとづく地下微生物の酸化・還元活性の考察, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Mc-010.
- 105) 岩月輝希, 徐 勝, 伊藤 茂 (2000):  $^{14}\text{C}$  測定の地質学への応用, 第 48 回質量分析総合討論会(2000)講演要旨集, pp.266-267.

- 106) Iwatsuki, T., Xu, S., Itoh, S., Abe, M. and Watanabe, M. (2000): Estimation of relative groundwater age in the granite at the Tono research site, central Japan. Nucl. Instr. Methods Phys. Res. B, 172, pp.524-529.
- 107) 岩月輝希, 徐 勝, 佐竹 洋 (2000): 同位体的解析に基づく地下深部の pH 環境の考察, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ac-P001.
- 108) 岩月輝希, 吉田英一, 濱 克宏, リチャード・メトカルフェ (2000): 炭酸塩鉱物の同位体組成に基づく pH 条件の長期安定性の解析手法, サイクル機構技報, No.8(2000.9), pp.41-48.
- 109) Jin, A.S., Moya, C.A. and Ando, M. (2000): Simultaneous determination of site responses and source parameters of small earthquakes along the Atotsugawa fault zone, central Japan. Bull. Seismol. Soc. Amer., 90, pp.1430-1445.
- 110) 核燃料サイクル開発機構 (2000): 広域地下水流動研究の現状 - 平成 4 年度 ~ 平成 11 年度, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2000-014.
- 111) 核燃料サイクル開発機構 (2000): 超深地層研究所計画 - 地表からの調査予測研究段階計画 - 平成 12 ~ 14 年度計画書, サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2000-001.
- 112) 核燃料サイクル開発機構 (2000): 広域地下水流動研究実施計画書平成 12 ~ 16 年度研究計画書, サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2000-002.
- 113) 核燃料サイクル開発機構 (2000): 平成 12 年度地層科学研究情報・意見交換会 - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2000-003.
- 114) 核燃料サイクル開発機構 (2000): 東濃鉱山における調査試験研究年度計画書 (平成 12 年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2000-004.
- 115) 核燃料サイクル開発機構 (2000): 超深地層研究所計画年度計画書 (平成 12 年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2000-005.
- 116) 鎌滝孝信 (2000): 堆積シーケンス中における浅海棲底生動物群の形成: 中部更新統下総層群藪層の例, 日本地質学会第 107 年学術大会講演要旨, p.127.
- 117) 亀井斗禮 (2000): 深部地質環境の調査・解析技術の体系化に関する研究, サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 社団法人システム総合研究所), JNC TJ7400 2000-015.
- 118) 加藤春實 (2001): 00SE-03 孔における水圧破砕法による初期応力測定, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 同和工営株式会社), JNC TJ7430 2001-001.
- 119) 加藤春實, 佐藤稔紀, 前田信行, 松井裕哉 (2000): 水圧破砕法から推定される初期応力分布と弾性波速度異方性の関係 - 岐阜県瑞浪市の土岐花崗岩を対象とした 1,000m ボーリング孔での測定例, 第 21 回西日本岩盤工学シンポジウム論文集, pp.87-92.
- 120) 加藤春實, 佐藤稔紀, 前田信行, 松井裕哉, 佐野 修 (2000): 深度 1,000m 試錐孔のコアの弾性波速度異方性と原位置の応力環境との関係について, 資源・素材 2000 ポスターセッション発表要旨, PA-7.
- 121) 菊地慎二 (2001): 深部岩盤における初期応力測定用のレコーダー, 方位傾斜計の製作, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 日本国土開発株式会社), JNC TJ7410 2001-004.

- 122) Kita,H., Sato,T., Chen,Y., Nishiyama,T. and Kaneko,K. ( 2000 ): Processes of microcracking and faulting in granite. Abst. 31st International Geological Congress, Rio de Janeiro, Brazil, August 6-7, 2000, CD-ROM.
- 123) 喜多治之, 佐藤稔紀, 金子勝比古 ( 2000 ): 高温下における岩石の力学・透水特性, 第 21 回西日本岩盤工学シンポジウム論文集, pp.33-38 .
- 124) 喜多治之, 佐藤稔紀, 辻上博司, 陳 友晴, 西山 孝, 金子勝比古 ( 2000 ): 温度履歴に伴う砂岩の間隙構造の変化, 資源と素材, 116 , pp.656-661 .
- 125) 北川有一, 吾妻瞬一 ( 2000 ): 東濃鉦山周辺における地下水位の地殻ひずみ・気圧応答の周波数特性と地震に伴う地下水位変動の研究, サイクル機構技報, No.8(2000.9) , pp.57-63 .
- 126) 北川有一, 吾妻瞬一, 脇田 宏 ( 2000 ): 岐阜県土岐市東濃鉦山周辺で行っている地下水位測定及び他の観測項目の地震関連現象の考察, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ai-P003 .
- 127) 小出 馨 ( 2000 ): DH-11 号試錐掘削ならびに調査研究結果速報, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2000-011 .
- 128) Koide,K., Hasegawa,K., Sugihara,K. and Takeda,S. ( 2000 ): Current status of the JNC geoscientific R&D programme on deep geological environment. Proc. 2000 Joint Workshop on HLW Management between Korea and Japan, Taejon, Korea, November 6-7, 2000 .
- 129) 小室光世, 豊田新, 磯部博志, 柳瀬信之, 堀川循正, 浅井貴之 ( 2000 ): 石英の放射線損傷解析によるウラン鉦床のナチュラルアナログ研究, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ac-012 .
- 130) 近藤康生, 鎌滝孝信 ( 2000 ): 二枚貝類を中心とした下総層群の底生動物化石群集, 特に生活様式組成と堆積作用の関係, 2000 年第四紀学会大会シンポジウム講演要旨, pp.158-159 .
- 131) 窪田 茂, 納多 勝, 戸井田克, 石塚峰夫 ( 2001 ): 超深地層研究所研究坑道における研究及び施工に関する検討, サイクル機構技術資料 ( 研究委託報告書; 大成建設株式会社, 株式会社大林組, 鹿島建設株式会社, 清水建設株式会社 ), JNC TJ7400 2001-005 .
- 132) 熊澤峰夫, 國友孝洋, 横山由紀子, 中島崇裕, 鶴我佳代子 ( 2000 ): アクロス: 理論と技術開発, 及び将来展望, サイクル機構技報, No.9(2000.12) , pp.115-129 .
- 133) Kumazawa,M., Yokoyama,Y. and Nakajima,T. ( 2000 ): A model for decomposition of electromagnetic transfer function in 3D structure. 2000 Fall Meeting, San Francisco, California, December 15-19, 2000. Eos, Trans, Amer. Geophys. Union, Suppl., 81, GP61B-05, American Geophysical Union.
- 134) 國友孝洋, 熊澤峰夫 ( 2000 ): 東濃アクロス地震計アレー観測システム, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ai-P005 .
- 135) 前田信行, 松井裕哉 ( 2001 ): 東濃鉦山における初期応力状態の評価解析, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2001-004 .

- 136) 前田信行, 松井裕哉 (2001): 東濃鉦山における双設坑道の安定解析, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2001-005 .
- 137) 前田信行, 松井裕哉, 瀬戸政宏 (2001): 資源環境技術総合研究所 / サイクル機構共同研究報告書 - 岩盤空洞の安定性に関する評価方法の検討 - 平成 12 年度共同研究報告書, サイクル機構技術資料, JNC TY7400 2001-001 .
- 138) 前村庸之, 徳丸昌則 (2001): 不飽和領域の原位置計測手法の研究, サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 株式会社ダイヤコンサルタント), JNC TJ7400 2001-001 .
- 139) 前村庸之, 徳丸昌則 (2001): 不飽和領域の原位置計測手法の開発, サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 株式会社ダイヤコンサルタント), JNC TJ7400 2001-006 .
- 140) 増田富士雄, 藤原 治, 酒井哲弥 (2000): 房総半島太平洋側の沖積層と海水準変動 - 特に, 九十九里浜平野と夷隅川低地の完新統, 2000 年第四紀学会大会シンポジウム講演要旨, pp.172-173 .
- 141) 松井裕哉 (2000): AN-1 号孔および MIU-1 号孔における力学特性調査結果, 土木学会第 55 回年次学術講演会, CS-171 .
- 142) 松井裕哉, 前田信行, 吉川和夫 (2001): MIU-3 号孔における力学特性調査結果及び正馬様用地における土岐花崗岩体の岩盤力学的概念モデル, サイクル機構技術資料, JNC TN7420 2001-001 .
- 143) 松井裕哉, 佐藤稔紀, 杉原弘造 (2000): 結晶質岩における坑道掘削等に伴う周辺岩盤中の間隙水圧変化, トンネル工学研究論文報告集, 10, pp.209-214 .
- 144) 松岡永憲 (2001): 北延 NATM 坑道における間隙水圧計測システムの設置, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 大成基礎設計株式会社), JNC TJ7410 2001-003 .
- 145) 松岡永憲 (2001): 北延 NATM 坑道における間隙水圧計測システムの設置, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 大成基礎設計株式会社), JNC TJ7440 2001-002 .
- 146) 松岡稔幸, 武田祐啓, 中野勝志 (2001): 花崗岩分布地域における反射法地震探査の適用例, 日本原子力学会 2001 年春の年会要旨集, p.620 .
- 147) 松谷泰生, 本多政彦 (2001): AI 孔を用いた水位観測のための準備調査業務 (AI 孔水位計設置 (その 1)), サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 国際航業株式会社), JNC TJ7440 2001-001 .
- 148) Metcalfe, R., Amano, K., Hama, K., Kunimaru, T., Yoshida, H., Milodowski, A.E. and Gillespie, M.R. (2000): Characterising groundwater flow histories in faults: a case study of the Tsukiyoshi Fault, Tono Mine, Japan. 2000 Western Pacific Geophysics Meeting, Eos, Trans., Amer. Geophys. Union, Suppl., 81, WP40, H31A-09, American Geophysical Union.
- 149) 見掛信一郎, 杉原弘造, 永崎靖志 (2000): 地下 1,000m に研究坑道を掘る, 東濃地科学センター超深地層研究所計画, トンネルと地下, 31, pp.55-63 .
- 150) 見掛信一郎, 杉原弘造, 永崎靖志, 天野 格 (2000): 超深地層研究所における研究の進め方と研究坑道の設計概念, 日本原子力学会 2000 年秋の大会予稿集, p.691 .
- 151) 森川徳敏 (2001): 地球化学的調査に基づいた地下水流動に関する研究 - 東濃地域を対象とした溶存希ガスによる地下水調査, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2001-003 .

- 152) 森川徳敏, 徐 勝, 岩月輝希 (2000): 東濃鉾山周辺の地下水中のヘリウム同位体比, 2000 年度日本地球化学会年会講演要旨集, p.138 .
- 153) Murakami, Y., Iwatsuki, T. and Naganuma, T. (2000): Microbial abundance and activity in deep groundwater in the Tono uranium mine area. Abst. 2nd Euroconference Bacterial-Metal/Radionuclide Interaction: Basic Research and Bioremediation, Rossendorf/Dresden, Germany, 30 August-1 September 2000, pp.41-42.
- 154) 長沼 毅, 今中忠行, 跡見晴幸, 村上由記, 岩月輝希 (2000): 深部地質環境に対する微生物の影響に関する研究 (先行基礎工学共同研究), サイクル機構技術資料, JNC TY7400 2000-002 .
- 155) Naganuma, T., Murakami, Y. and Iwatsuki, T. (2000): Formation of colloidal iron hydroxide by deep subsurface bacteria. Abst. PACIFICHEM 2000, Honolulu, Hawaii, December 14-19, 2000, Bios63 .
- 156) 中島崇裕, 國友孝洋, 熊澤峰夫, 横山由紀子 (2000): 電気ダイポールからの送信信号モニタリングの試み, 第 108 回地球電磁気・地球惑星圏学会講演会講演予稿集, p.153 .
- 157) 中島崇裕, 國友孝洋, 熊澤峰夫, 横山由紀子 (2000): 東濃電磁アクロスシステム技術開発と送信受信点間の伝達関数の試験観測, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Eh-P002 .
- 158) 中島崇裕, 國友孝洋, 熊澤峰夫, 横山由紀子 (2000): 電磁アクロスの開発と送信実験, 東京大学地震研究所彙報, 75, pp.413-428 .
- 159) 中間茂雄, 前田信行, 松井裕哉, 吉川和夫 (2001): 鉛直ボーリング孔を利用した東濃鉾山における初期応力状態の評価, 日本原子力学会 2001 年春の年会要旨集, p.621 .
- 160) 中野勝志, 天野健治, 竹内真司, 松井裕哉 (2000): 地下深部の地質環境を把握するための調査技術開発 (超深地層研究所計画における研究成果の一例), 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ac-P009 .
- 161) 中司 昇, 湯佐泰久 (2000): 地層処分における地質環境の役割と将来予測, 日本地質学会第 107 年学術大会講演要旨, p.10 .
- 162) 野原 壯, 郡谷順英, 今泉俊文 (2000): 活断層 GIS データを用いた地殻の歪速度, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, SI-P014 .
- 163) Ohmori, H., Sanga, T., Fujiwara, O. and Sugai, T. (2000): Distribution of erosion rates over the Japanese Islands and its regional characteristics. Trans., Jap. Geomorph. Union, 21, pp.41-42 .
- 164) 岡崎浩子, 佐藤弘幸, 中里裕臣, 鎌滝孝信 (2000): 中部更新統下総層群礫層から復元された砂嘴 - 内湾システム, 堆積学研究, 52, pp.63-74 .
- 165) 大久保誠介 (2001): 長期岩盤挙動評価のための巨視的観点による基礎的研究 (平成 12 年度), サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 東京大学), JNC TJ7400 2001-003 .

- 166) Ota,K., Alexander,W.R., Smith,P.A., Mōri,A., Frieg,B., Frick,U., Umeki,H., Amano,K., Cowper,M.M. and Berry,J.A. (2000): Building confidence in radionuclide transport models for fractured rock: The Nagra/JNC Radionuclide Retardation Programme. Abst. 24th International Symposium on the Scientific Basis for Nuclear Waste Management (MRS2000), Sydney, Australia, 27-31 August 2000, p.47.
- 167) Ota,K., Kuno,Y., Shibata,M., Yoshida,Y. and Yui,M. (2000): Laboratory work in support to CRR Phase 1 experiments at GTS. JNC Tech. Rep., JNC TN7420 2000-003 .
- 168) Ota,K., Nakano,K., Ikeda,K., Amano,K., Takeuchi,S. and Hama,K. (2001): An overview of the MIU-4 borehole investigations during phases I and II. JNC Tech. Rep., JNC TN7400 2001-002 .
- 169) 陸域地下構造フロンティア研究プロジェクト<sup>3</sup> (2001): 陸域地下構造フロンティア研究報告書, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2001-008 .
- 170) 三枝博光, 須山泰宏 (2000): 超深地層研究所計画における地質構造モデルの構築及び地下水流動解析, サイクル機構技報, No.9(2000.12), pp.89-101 .
- 171) 齊藤 宏, 川瀬啓一, 西田伸穂, 福島秀樹 (2000): 超深地層研究所計画への情報提供技術の適用, 日本原子力学会中部支部第 32 回研究発表会講演概要集, p.26 .
- 172) 齊藤 宏, 川瀬啓一, 杉原弘造, 山本純太 (2000): 超深地層研究所計画に関する情報提供活動への VR 技術の適用, サイクル機構技報, No.7(2000.6), pp.93-98 .
- 173) 坂井哲郎 (2001): 通気・防災技術の展開と地下 GIS, 月刊技術士, pp.2-5 .
- 174) 三箇智二, 藤原 治 (2000): 高度分散量を用いた数値地図からの地形・地質的特徴の抽出, 情報地質, 11, pp.118-121 .
- 175) 佐藤伸哉, 向井和行 (2000): BTV データの解析作業, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社レアックス), JNC TJ7440 2000-030 .
- 176) 佐藤伸哉, 向井和行, 富浦裕司 (2001): 00SE-03 孔におけるポアホールテレビ観察, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社レアックス), JNC TJ7420 2001-003 .
- 177) Seto,M., Maeda,N. and Matsui,H. (2000): Vertical stresses around a drift excavated in sedimentary rock determined by the acoustic emission technique. Proc. GeoEng2000, Melbourne, Australia, 19-24 November 2000, Uw0940.
- 178) 島田顕臣, 前田勝彦, 篠田繁幸, 梅本和裕, 藤原 協 (2000): 花崗岩地域の割れ目系とリニアメント, 応用地質学会中部支部平成 12 年度支部研究発表会講演予稿集, pp.47-50 .
- 179) Shinshi,Y., Nakano,K., Mikake,S. and Takeuchi,R. (2000): Integration of well hydraulic formulae considering several condition of pumping test and/or hydraulic boundaries. Proc. International Symposium 2000 on Groundwater, Saitama, Japan, May 8-10, 2000, pp.471-472, IAHR .
- 180) 進士喜英, 中野勝志, 竹内竜史, 狩野裕之 (2000): 単孔式現場透水試験の解釈に関する一考察, 第 35 回地盤工学研究発表会, pp.1531-1532 .



- 181) Smith, P.A., Alexander, W.R., Kickmaier, W., Ota, K., Frieg, B. and McKinley, I.G. (2001): Development and testing of radionuclide transport models for fractured rock: Examples from the Nagra/JNC Radionuclide Migration Programme in the Grimsel Test Site, Switzerland. *Jour. Contam. Hydrol.*, 47, pp.335-348.
- 182) 曾根好徳, 細田 宏, 下山昌宏, 永野修一, 竹村聖吾 (2001): MIU-3 号孔における地下水水圧・水質観測装置の設置, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 応用地質株式会社), JNC TJ7440 2001-003.
- 183) Sugai, T., Ohmori, H., Sanga, T. and Fujiwara, O. (2000): Hypsometric integral for small drainage basins in tectonically active regions and its geomorphological implications. *Trans., Jap. Geomorph. Union*, 21, pp.59-60.
- 184) 杉原弘造, 吉岡尚也, 松井裕哉, 佐藤稔紀, 山本卓也 (2000): 堆積軟岩での立坑掘削に伴う岩盤物性変化の現場計測による検討, *資源と素材*, 116, pp.821-830.
- 185) 須山泰宏, 三枝博光 (2000): 広域地下水流動研究における地質構造モデルの構築と地下水流動解析, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2000-012.
- 186) 立花明子, 村上由記, 長沼 毅, 岩月輝希 (2001): 地質試料の有機分析による地下微生物相の解析, 第 17 回しんかいシンポジウム予稿集, p.166.
- 187) 高瀬嗣郎, 渡辺俊樹, 藪内 聡, 松岡俊文, 芦田 譲 (2000): フルウェーブトモグラフィの実データへの適用, *物理探査学会平成 12 年度春季学術講演会講演論文集*, pp.298-301.
- 188) 竹内竜史, 仙波 毅, 中野勝志 (2000): 孔間水理試験装置の開発, サイクル機構技報, No.8(2000.9), pp.49-56.
- 189) 竹内真司, 下茂道人, 西畠 望, 後藤和幸 (2001): 1000m ボーリング孔を用いた圧力干渉試験による断層近傍の透水性調査, 第 31 回岩盤力学に関するシンポジウム講演論文集, pp.296-300.
- 190) 田中義廣, 高市和義, 飯室 弘 (2001): 環境変動シミュレーション技術に関する調査, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社 CRC 総合研究所), JNC TJ7420 2001-002.
- 191) 戸井田克, 塩釜幸弘, 古市光昭, 升元一彦, 須山泰宏, 阿部泰典 (2001): 地質環境の不均一性評価における統計解析手法の適用性調査(その2) - 2次元データを基にした統計解析手法の適用性調査と実用化に関する課題の整理, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 鹿島建設株式会社), JNC TJ7440 2001-015.
- 192) 遠山茂之, 若松尚則, 小田川信哉 (2000): 土壌水分地下水位観測データの整理業務, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; アジア航測株式会社), JNC TJ7440 2000-026.
- 193) 鶴我佳代子, 熊沢峰夫, 國友孝洋, 山岡耕春 (2000): 可搬型弾性波送信震源 (HIT) の実用化に向けた加振部設置技術の開発, *地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集*, Ai-P002.
- 194) 梅田浩司, 小松 亮, 棚瀬充史, 湯佐泰久 (2001): 西南日本領家帯 (四国), 高浜花崗岩類の冷却史, 特に新第三紀貫入岩類による熱的影響, *岩石鉱物科学*, 30, pp.17-27.

- 195) 渡辺邦夫, 三枝博光 (2000): 地下水流動調査研究 - 地下水流動の総合調査・解析システムの開発, サイクル機構技術資料, JNC TY7400 2000-004 .
- 196) 渡辺邦夫, 吉沢達夫, 今井 久, 三枝博光 (2000): オパリナス・クレイ層の透水係数の推定, 土木学会第 55 回年次学術講演会, CS-130 .
- 197) West, J.M., Hama, K., Bateman, K., Coombs, P., Hards, V., Milodowski, A.E., Wetton, P. and Yoshida, H. (2000): Laboratory examination of microbial perturbations in a granitic environment. Abst. 24th International Symposium on the Scientific Basis for Nuclear Waste Management (MRS2000), Sydney, Australia, 27-31 August 2000, p.37.
- 198) Xu, S., Hoshizumi, H., Ochiai, Y. and Uto, K. (2000): Preliminary results of AMS <sup>14</sup>C dating for the younger Unzen Volcano, Japan. 2000 Western Pacific Geophysics Meeting, Eos, Trans., Amer. Geophys. Union, 81, WP240, HV41B-07, American Geophysical Union.
- 199) Xu, S., Itoh, S., Iwatsuki, T., Abe, M. and Watanabe, M. (2000): A new AMS facility at the JNC Tono Geoscience Center, Japan. Nucl. Instr. Methods Phys. Res. B, 172, pp.8-12.
- 200) 薛 自求, 松井裕哉, 吉川和夫, 松村真一郎 (2001): ボーリングコアの弾性波速度異方性と地下応力の関係について, 第 31 回岩盤力学に関するシンポジウム講演論文集, pp.106-110 .
- 201) 山本純太, 永崎靖志, 西村 修 (2000): 超深地層研究所計画 - 環境の調査結果, サイクル機構技術資料, JNC TN7420 2000-005 .
- 202) 山内大祐, 宮原智哉, 竹内真司, 小田川信哉 (2000): 超深地層研究所計画用地周辺の水収支観測結果, サイクル機構技報, No.9(2000.12), pp.103-114 .
- 203) 山内大祐, 竹内真司, 三戸嘉之 (2000): DEM による地形解析に基づく水文観測地点の代表性確認について, 応用地質学会中部支部平成 12 年度支部研究発表会講演予稿集, pp.37-42 .
- 204) 横山由紀子 (2000): 情報量規準を使用しない AR オーダの推定法, 第 15 回デジタル信号処理シンポジウム, pp.197-202 .
- 205) 横山由紀子, 熊澤峰夫, 國友孝洋, 中島崇裕 (2000): 精密に制御された電磁波を用いた 3 次元精密構造探査のためのデジタル信号波形の設計, 東京大学地震研究所彙報, 75, pp.375-392 .
- 206) 横山由紀子, 熊澤峰夫, 中島崇裕 (2000): 射線モデルと自己回帰型のモデルを組み合わせた電磁場伝達関数の分解方法 - 水平成層構造の場合, 東京大学地震研究所彙報, 75, pp.393-411 .
- 207) 横山由紀子, 中島崇裕, 熊澤峰夫 (2000): 人工電磁波源を用いた 3 次元構造探査で扱う送受信点間伝達関数の性質とその処理法, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Eh-P001 .
- 208) 横山由紀子, 中島崇裕, 熊澤峰夫 (2000): 人工電磁波源を用いた 3 次元構造探査で扱う送受信信号間伝達関数の性質とその処理法 2, 第 108 回地球電磁気・地球惑星圏学会講演会講演予稿集, p.164 .

- 209) 吉川和夫, 前田信行, 松井裕哉 (2000): 堆積軟岩のスケール効果と破壊現象との関係に関する一考察, 応用地質学会中部支部平成 12 年度支部研究発表会講演予稿集, pp.43-46 .
- 210) 吉川和夫, 松井裕哉, 前田信行 (2001): 超深地層研究所建設に伴う坑道周辺岩盤中の掘削影響に関する予察的解析, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2001-012 .
- 211) 吉沢達夫, 渡辺邦夫, 三枝博光, 今井 久 (2000): Evaporation Logging System の改良と原位置での適用検討, 土木学会第 55 回年次学術講演会, CS-128 .
- 212) 吉添 誠, Dershowitz,W. (2001): 亀裂ネットワークモデルによる解析作業の実施, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 三菱商事株式会社), JNC TJ7410 2001-002 .
- 213) 湯佐泰久 (2000): 核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センター, 安全工学, 39, pp.351-352 .
- 214) 湯佐泰久 (2000): 自然から学ぶ放射性廃棄物処分の智慧 - ナチュラルアナログ研究のすすめ, 地学雑誌, 109, pp.805-808 .
- 215) Zhou,Q.Y., Shimada,J., Matsui,H. and Sato,A. (2000): Numerical analysis of the sensitivity of electrical resistivity tomography to the water movement in fractured rocks. 2000 Western Pacific Geophysics Meeting, Eos, Trans., Amer. Geophys. Union, 81, WP51, H51A-07, American Geophysical Union.

<sup>2</sup>活断層研究チーム: 伊藤谷生, 水田義明, 佐野 修, 平原和朗, 佐竹 洋, 竹内 章, 西上欽也, 伊藤 潔, 柳谷 俊, 渡辺邦夫, 田中秀実, 伊藤久男 .

<sup>3</sup>陸域地下構造フロンティア研究プロジェクト: 熊沢峰夫, 國友孝洋, 鶴我佳代子, 中島崇裕, 横山由紀子, 脇田 宏, 吾妻瞬一, 石井 紘, 北川有一, 佐々木嘉三, 田阪茂樹, 山内常生, 安藤雅隆, 伊藤 潔, 伊藤久男, 佐竹 洋, 竹内 章, 田中秀実, 西上欽也, 平原和朗, 柳谷 俊, 中司 昇, 藤原 治, 松末和之 .

1. 広域地下水流動研究

(1) 広域地下水流動研究全般

- 8) 後藤淳一, 中野勝志(2000): 広域地下水流動研究の現状, 日本原子力学会 2000 年春の年会講演要旨集, p.944.
- 9) Hama, K., Kunimaru, T. and Amano, K. (2000): Compilation of data from Field and Laboratory Activities (DH-7) May 1997-July 1998. JNC Tech. Doc., JNC TN7450 2000-001.
- 35) 永松武彦, 池田則生, 永井保弘, 斉藤正行, 工藤 敏, 明石孝行, 重野未来, 川村隆英(2000): 広域地下水流動研究における試錐調査(その3)(DH-10 号孔), サイクル機構技術資料(契約業務報告書;三菱マテリアル資源開発株式会社), JNC TJ7440 2001-032.
- 36) 永松武彦, 池田則生, 永井保弘, 斉藤正行, 工藤 敏, 明石孝行, 重野未来, 川村隆英(2000): 広域地下水流動研究における試錐調査(その3)(DH-11 号孔), サイクル機構技術資料(契約業務報告書;三菱マテリアル資源開発株式会社), JNC TJ7440 2001-033.
- 85) 長谷川健(2000): DH-10 号試錐掘削ならびに調査研究結果速報, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2000-009.
- 86) 長谷川健, 杉原弘造, 武田精悦(2000): 地下深部における地質環境の研究 - 広域地下水流動研究および超深地層研究所計画(地表からの研究段階)について, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ac-011.
- 110) 核燃料サイクル開発機構(2000): 広域地下水流動研究の現状 - 平成 4 年度 ~ 平成 11 年度, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2000-014.
- 112) 核燃料サイクル開発機構(2000): 広域地下水流動研究実施計画書平成 12 ~ 16 年度研究計画書, サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2000-002.
- 127) 小出 馨(2000): DH-11 号試錐掘削ならびに調査研究結果速報, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2000-011.
- 128) Koide, K., Hasegawa, K., Sugihara, K. and Takeda, S. (2000): Current status of the JNC geoscientific R&D programme on deep geological environment. Proc. 2000 Joint Workshop on HLW Management between Korea and Japan, Taejon, Korea, November 6-7, 2000, pp.115-128.

(2) 地質・地質構造に関する調査研究

- 3) 阿部 信, 石川 清, 甲斐昌宣(2000): 地質構造把握のための岩芯観察, サイクル機構技術資料(契約業務報告書;開発工事株式会社), JNC TJ7440 2000-015.
- 16) 池田孝夫, 吉田英爾(2000): 地質環境データ解析・可視化システム 解析コードの拡張, サイクル機構技術資料(契約業務報告書;株式会社日揮), JNC TJ7400 2000-006.

- 33) 三戸嘉之,猪股隆行,土谷 学(2000): 広域地下水流動研究対象域における DEM(DTM)データの更新と地形解析,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;国際航業株式会社), JNC TJ7440 2000-009 .
- 34) 三輪敦志,高橋奈緒(2000): 岩石薄片の顕微鏡観察,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;応用地質株式会社), JNC TJ7440 2000-014 .
- 42) 大里和己,山根一修(2000): 電磁法データの2次元比抵抗構造解析,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;地熱技術開発株式会社), JNC TJ7440 2000-005 .
- 56) 鈴木敬一(2000): 連続波レーダー実験機を用いた基礎実験データの取得作業,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;川崎地質株式会社), JNC TJ7420 2000-007 .
- 58) 戸井田克,塩釜幸弘,渥美博行,升元一彦,安井信吾,阿部泰典,古市光昭(2000): 地質環境の不均一性評価における統計解析手法の適用性調査,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;鹿島建設株式会社), JNC TJ7440 2000-006 .
- 67) 八野祐二,中司龍明(2000): 屈折法弾性波探査におけるインバージョン解析と統計的速度区分,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;基礎地盤コンサルタンツ株式会社), JNC TJ7440 2000-004 .
- 175) 佐藤伸哉,向井和行(2000): BTV データの解析作業,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;株式会社レアックス), JNC TJ7440 2000-030 .
- 191) 戸井田克,塩釜幸弘,古市光昭,升元一彦,須山泰宏,阿部泰典(2001): 地質環境の不均一性評価における統計解析手法の適用性調査(その2) - 2次元データを基にした統計解析手法の適用性調査と実用化に関する課題の整理,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;鹿島建設株式会社), JNC TJ7440 2001-015 .
- 203) 山内大祐,竹内真司,三戸嘉之(2000): DEMによる地形解析に基づく水文観測地点の代表性確認について,応用地質学会中部支部平成12年度支部研究発表会講演予稿集, pp.37-42 .

### (3) 岩盤の水理に関する調査研究

- 7) Gautam,M.R., Watanabe,K., and Saegusa,H.(2000): Field experiment and observations of runoff generation processes in a forested mountainous catchment, Tono area, Japan, Annual Jour. Hydraul. Engin., JSCE, 44. pp.127-132.
- 37) 中司龍明,豊島賢治,池田雅俊(2000): 東濃鉦山及び正馬川・柄石川流域の湧水点踏査確認業務,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;基礎地盤コンサルタンツ株式会社), JNC TJ7440 2000-011 .
- 43) 斉藤 庸,坂森計則(2000): 地下水位観測孔の連続地下水位データ整理業務,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;日本工営株式会社), JNC TJ7440 2000-017 .
- 44) 斉藤 庸,坂森計則(2000): 地下水流動解析における検証用データ(河川流量)の推定,サイクル機構技術資料(契約業務報告書;日本工営株式会社), JNC TJ7400 2000-007 .

- 45) 斉藤 庸, 坂森計則 (2000): 東濃鉦山及び正馬川流域等の気象観測データと他機関観測データの対比と整理, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 日本工営株式会社), JNC TJ7440 2000-012 .
- 46) 斉藤 庸, 坂森計則, 石崎俊一 (2000): 広域地下水流動解析対象地域における地下水位データ整理業務, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 日本工営株式会社), JNC TJ7440 2000-010 .
- 51) 下茂道人, 西嶋 望 (2000): 不均質等価連続体モデルを用いた広域地下水流動解析, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 大成建設株式会社), JNC TJ7400 2000-008 .
- 53) 進士喜英, 狩野裕之 (2000): 水理試験により得られる実測データの解析手法の高度化と適用, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社鴻池組), JNC TJ7400 2000-010 .
- 77) Gautam, M.R., Saegusa, H., Kaizuka, T. and Watanabe, K. (2000): Runoff characteristics of two sub-catchments in Tono area, 土木学会第55回年次学術講演会, II-90 .
- 78) Gautam, M.R., Watanabe, K. and Saegusa, H. (2000): Runoff analysis in humid forest catchment with artificial neural network. Jour. Hydrol., 235, pp.117-136 .
- 98) 今井 弘, 三輪夕子 (2000): MP システムによる地下水の採水・水圧計測, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社ペスコ), JNC TJ7440 2000-003 .
- 99) 今井 久, 雨宮 清, 松井裕哉, 林 為人, 前村庸之, 櫛原 昇, 石原輝行 (2000): 電磁波伝搬特性を利用した水分量計測に関する人工地盤試験, ハザマ研究年報(2000.12), pp.47-55 .
- 100) 稲垣隆二, 下山昌宏, 中村哲久, 竹村聖吾, 永野修一 (2001): 明世地区表層水理研究試錐調査, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 応用地質株式会社), JNC TJ7440 2001-011 .
- 179) Shinshi, Y., Nakano, K., Mikake, S. and Takeuchi, R. (2000): Integration of well hydraulic formulae considering several condition of pumping test and/or hydraulic boundaries. Proc. International Symposium 2000 on Groundwater, Saitama, Japan, May 8-10, 2000, pp.471-472, IAHR .
- 180) 進士喜英, 中野勝志, 竹内竜史, 狩野裕之 (2000): 単孔式現場透水試験の解釈に関する一考察, 第35回地盤工学研究発表会, pp.1531-1532 .
- 185) 須山泰宏, 三枝博光 (2000): 広域地下水流動研究における地質構造モデルの構築と地下水流動解析, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2000-012 .
- 192) 遠山茂之, 若松尚則, 小田川信哉 (2000): 土壌水分地下水位観測データの整理業務, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; アジア航測株式会社), JNC TJ7440 2000-026 .
- 195) 渡辺邦夫, 三枝博光 (2000): 地下水流動調査研究 - 地下水流動の総合調査・解析システムの開発, サイクル機構技術資料, JNC TY7400 2000-004 .
- 212) 吉添 誠, Dershowitz, W. (2001): 亀裂ネットワークモデルによる解析作業の実施, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 三菱商事株式会社), JNC TJ7410 2001-002 .

#### (4) 地下水の地球化学に関する調査研究

- 18) 岩月輝希,佐竹 洋(2000): 鉱物学的アプローチによる地下深部の pH-Eh 環境の解析, 日本原子力学会 2000 年春の年会講演要旨集, p.976 .
- 35) Iwatsuki,T., Metcalfe,R., Amano,K., Hama,K., Arthur,R.C. and Sasamoto,H. (2001): Data book on groundwater chemistry in the Tono area. JNC Tech. Rep., JNC TN7450 2001-003 .
- 36) 岩月輝希,村上由記,長沼 毅(2001): 深部地下環境における微生物によるコロイド生成, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, A6-P003 .
- 37) 岩月輝希,佐竹 洋,吉田英一,濱 克宏(2001): 方解石の結晶形・同位体に基づく地下深部の古水理地球化学的研究, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, A0-P003 .
- 81) 濱 克宏,中野勝志(2000): 地下水の地球化学特性調査技術開発(東濃地域を例として), 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ac-P004 .
- 84) Harrington,J.F. and Horseman,S.T. (2000): Stress-sensitivity of the hydraulic properties of a clay-bearing fault gouge from the Tsukiyoshi Fault, Tono Mine, central Japan. JNC Tech. Rep. (Work performed by British Geological Survey under contract with JNC), JNC TJ7400 2000-016 .
- 106) Iwatsuki,T., Xu,S., Itoh,S., Abe,M. and Watanabe,M. (2000): Estimation of relative groundwater age in the granite at the Tono research site, central Japan. Nucl. Instr. Methods Phys. Res. B, 172, pp.524-529.
- 107) 岩月輝希,徐 勝,佐竹 洋(2000): 同位体的解析に基づく地下深部の pH 環境の考察, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ac-P001 .
- 108) 岩月輝希,吉田英一,濱 克宏,リチャード・メトカルフェ(2000): 炭酸塩鉱物の同位体組成に基づく pH 条件の長期安定性の解析手法,サイクル機構技報 ,No.8(2000.9), pp.41-48 .
- 151) 森川徳敏(2001): 地球化学的調査に基づいた地下水流動に関する研究 - 東濃地域を対象とした溶存希ガスによる地下水調査,サイクル機構技術資料 ,JNC TN7400 2001-003 .

## 2 . 超深地層研究所計画

### (1) 超深地層研究所計画全般

- 55) 杉原弘造,川瀬啓一,山本純太(2000): 超深地層研究所計画の全体概要, 日本原子力学会 2000 年春の年会講演要旨集, p.943 .
- 63) 豊蔵 勇,橋井智毅,名越澄生,伊藤 孝,杉森辰次,杉田信隆,政枝 宏(2000): 正馬様用地における試錐調査(MIU-3号孔), サイクル機構技術資料(契約業務報告書; 株式会社ダイヤコンサルタント), JNC TJ7440 2000-022 .

- 86) 長谷川健, 杉原弘造, 武田精悦 (2000): 地下深部における地質環境の研究 - 広域地下水流動研究および超深地層研究所計画 (地表からの研究段階) について, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ac-011 .
- 111) 核燃料サイクル開発機構 (2000): 超深地層研究所計画 - 地表からの調査予測研究段階計画 - 平成 12 ~ 14 年度計画書, サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2000-001 .
- 115) 核燃料サイクル開発機構 (2000): 超深地層研究所計画年度計画書 (平成 12 年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2000-005 .
- 128) Koide, K., Hasegawa, K., Sugihara, K. and Takeda, S. (2000): Current status of the JNC geoscientific R&D programme on deep geological environment. Proc. 2000 Joint Workshop on HLW Management between Korea and Japan, Taejon, Korea, November 6-7, 2000, pp.115-128 .
- 149) 見掛信一郎, 杉原弘造, 永崎靖志 (2000): 地下 1,000m に研究坑道を掘る, 東濃地科学センター超深地層研究所計画, トンネルと地下, 31, pp.55-63 .
- 160) 中野勝志, 天野健治, 竹内真司, 松井裕哉 (2000): 地下深部の地質環境を把握するための調査技術開発 (超深地層研究所計画における研究成果の一例), 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ac-P009 .
- 168) Ota, K., Nakano, K., Ikeda, K., Amano, K., Takeuchi, S. and Hama, K. (2001): An overview of the MIU-4 borehole investigations during phases I and II. JNC Tech. Rep., JNC TN7400 2001-002 .
- 171) 齊藤 宏, 川瀬啓一, 西田伸穂, 福島秀樹 (2000): 超深地層研究所計画への情報提供技術の適用, 日本原子力学会中部支部第 32 回研究発表会講演概要集, p.26 .
- 172) 齊藤 宏, 川瀬啓一, 杉原弘造, 山本純太 (2000): 超深地層研究所計画に関する情報提供活動への VR 技術の適用, サイクル機構技報, No.7(2000.6), pp.93-98 .
- 201) 山本純太, 永崎靖志, 西村 修 (2000): 超深地層研究所計画 - 環境の調査結果, サイクル機構技術資料, JNC TN7420 2000-005 .

## (2) 地質・地質構造に関する調査研究

- 27) 國丸貴紀, リチャード・メトカーフ (2000): 断層周辺における地下水流動および物質移動について - 東濃地域における月吉断層を例とした研究 - , 日本原子力学会 2000 年春の年会講演要旨集, p.945 .
- 38) 新沼岩保, 相澤隆生, 伊東俊一郎 (2000): 弾性波トモグラフィデータの解析作業, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; サンコーコンサルタント株式会社), JNC TJ7420 2000-006 .
- 64) 梅本和裕, 篠田繁幸, 藤原 協 (2000): リニアメント周辺の地質構造調査, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 国際航業株式会社), JNC TJ7440 2000-016 .
- 146) 松岡稔幸, 武田祐啓, 中野勝志 (2001): 花崗岩分布地域における反射法地震探査の適用例, 日本原子力学会 2001 年春の年会要旨集, p.620 .



- 166) Ota, K., Alexander, W.R., Smith, P.A., Mōri, A., Frieg, B., Frick, U., Umeki, H., Amano, K., Cowper, M.M. and Berry, J.A. (2000): Building confidence in radionuclide transport models for fractured rock: The Nagra/JNC Radionuclide Retardation Programme. Abst. 24th International Symposium on the Scientific Basis for Nuclear Waste Management (MRS2000), Sydney, Australia, 27-31 August 2000, p.47.
- 178) 島田顕臣, 前田勝彦, 篠田繁幸, 梅本和裕, 藤原 協 (2000): 花崗岩地域の割れ目系とリニアメント, 応用地質学会中部支部平成 12 年度支部研究発表会講演予稿集, pp.47-50.

### (3) 岩盤の水理に関する調査研究

- 14) 堀田政國, 穂刈利之 (2000): MIU-1, AN-3 号孔における地下水水圧・水質観測装置の設置, サイクル機構技術資料( 契約業務報告書; 清水建設株式会社 ), JNC TJ7400 2000-009.
- 52) 下茂道人, 西蔦 望 (2000): MIU-2・MIU-3 号孔間における孔間水理試験の実施, サイクル機構技術資料 ( 契約業務報告書; 大成建設株式会社 ), JNC TJ7400 2000-011.
- 54) 曾根好徳, 細田 宏, 下山昌宏, 永野修一 (2000): MIU-2 号孔における MP システムの設置, サイクル機構技術資料 ( 契約業務報告書; 応用地質株式会社 ), JNC TJ7440 2000-008.
- 60) 遠山茂行, 若松尚則, 岡崎彦哉 (2000): 正馬様用地における地下水水位計の設置, サイクル機構技術資料 ( 契約業務報告書; アジア航測株式会社 ), JNC TJ7440 2000-018.
- 61) 遠山茂行, 若松尚則, 岡崎彦哉 (2000): テレメータ集中管理システム用機器の設置, サイクル機構技術資料 ( 契約業務報告書; アジア航測株式会社 ), JNC TJ7440 2000-019.
- 62) 遠山茂行, 若松尚則, 岡崎彦哉 (2000): データ回収・処理ソフトウェアの作成, サイクル機構技術資料 ( 契約業務報告書; アジア航測株式会社 ), JNC TJ7440 2000-020.
- 95) 堀田政國, 穂刈利之 (2001): AN-1 号孔における地下水水圧・水質観測装置の設置, サイクル機構技術資料 ( 契約業務報告書; 清水建設株式会社 ), JNC TJ7440 2001-018.
- 97) 井尻裕二, 鈴木俊一, 大石雅也, 杉原 豊, 下茂道人, 西蔦 望, 文村賢一 (2001): 水理地質構造モデル化手法及び地下水流動解析手法の不確実性評価, サイクル機構技術資料 ( 契約業務報告書; 大成建設株式会社 ), JNC TJ7400 2001-007.
- 147) 松谷泰生, 本多政彦 (2001): AI 孔を用いた水位観測のための準備調査業務 ( AI 孔水位計設置 ( その 1 ) ), サイクル機構技術資料 ( 契約業務報告書; 国際航業株式会社 ), JNC TJ7440 2001-001.
- 170) 三枝博光, 須山泰宏 (2000): 超深地層研究所計画における地質構造モデルの構築及び地下水流動解析, サイクル機構技報, No.9(2000.12), pp.89-101.
- 182) 曾根好徳, 細田 宏, 下山昌宏, 永野修一, 竹村聖吾 (2001): MIU-3 号孔における地下水水圧・水質観測装置の設置, サイクル機構技術資料 ( 契約業務報告書; 応用地質株式会社 ), JNC TJ7440 2001-003.

189) 竹内真司, 下茂道人, 西嶋 望, 後藤和幸 (2001): 1000m ボーリング孔を用いた圧力干渉試験による断層近傍の透水性調査, 第 31 回岩盤力学に関するシンポジウム講演論文集, pp.296-300 .

202) 山内大祐, 宮原智哉, 竹内真司, 小田川信哉 (2000): 超深地層研究所計画用地周辺の水収支観測結果, サイクル機構技報, No.9(2000.12), pp.103-114 .

#### (4) 地下水の地球化学に関する調査研究

11) 濱 克宏, 吉田英一, 青木和弘, West, J.M., Bateman, K., Milodowski, A.E. (2000): 微生物活動による閃緑岩からのスメクタイト生成反応の可能性について - 室内試験結果から -, 日本原子力学会 2000 年春の年会講演要旨集, p.978.

59) 遠山茂行, 岡崎彦哉, 和知 剛 (2000): 雨水・河川水の採取・分析, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; アジア航測株式会社), JNC TJ7420 2000-005 .

72) 浅井和見 (2001): 雨水・河川水の採取・分析 (平成 12 年度), サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社地球科学研究所), JNC TJ7440 2001-017 .

83) 濱 克宏, 吉田英一, Bateman, K. (2000): 微生物が触媒する閃緑岩からのスメクタイト生成反応の可能性について, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Mc-006 .

104) 岩月輝希, 村上由記, 長沼 毅, 佐竹 洋 (2000): 硫黄同位体比にもとづく地下微生物の酸化・還元活性の考察, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Mc-010 .

#### (5) 岩盤力学に関する調査研究

22) 加藤春實 (2000): MIU-3 孔における水圧破砕法による初期応力測定, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 同和工営株式会社), JNC TJ7430 2000-005 .

23) 加藤春實 (2000): 深部岩盤における初期応力測定用プローブの製作および耐圧性能試験, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 同和工営株式会社), JNC TJ7400 2000-005 .

24) 菊地慎二 (2000): 初期応力測定用解析プログラムの作成, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 日本国土開発株式会社), JNC TJ7400 2000-013 .

28) 松井裕哉, 前田信行, 吉川和夫 (2000): MIU-2 号孔における力学特性調査結果及び月吉断層上盤側岩体の岩盤力学的概念モデル, サイクル機構技術資料, JNC TN7420 2000-001 .

88) 畑 浩二, 丸山 誠, 鳥井原誠 (2001): 土岐花崗岩中の割れ目を対象としたジョイントせん断試験, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社大林組), JNC TJ7430 2001-002 .

119) 加藤春實, 佐藤稔紀, 前田信行, 松井裕哉 (2000): 水圧破砕法から推定される初期応力分布と弾性波速度異方性の関係 - 岐阜県瑞浪市の土岐花崗岩を対象とした 1,000m ボーリング孔での測定例, 第 21 回西日本岩盤工学シンポジウム論文集, pp.87-92 .

120) 加藤春實, 佐藤稔紀, 前田信行, 松井裕哉, 佐野 修 (2000): 深度 1,000m 試錐孔のコアの弾性波速度異方性と原位置の応力環境との関係について, 資源・素材 2000 ポスターセッション発表要旨, PA-7 .

- 141) 松井裕哉 (2000): AN-1 号孔および MIU-1 号孔における力学特性調査結果, 土木学会 第 55 回年次学術講演会, CS-171 .
- 142) 松井裕哉, 前田信行, 吉川和夫 (2000): MIU-3 号孔における力学特性調査結果及び正馬様用地における土岐花崗岩体の岩盤力学的概念モデル, サイクル機構技術資料, JNC TN7420 2001-001 .

#### (6) 深地層の工学技術の基礎に関する研究

- 31) 見掛信一郎, 杉原弘造, 永崎靖志 (2000): 超深地層研究所における研究計画と研究坑道設計の考え方, サイクル機構技報, No.6(2000.3), pp.105-113 .
- 131) 窪田 茂, 納多 勝, 戸井田克, 石塚峰夫 (2001): 超深地層研究所研究坑道における研究及び施工に関する検討, サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 大成建設株式会社, 株式会社大林組, 鹿島建設株式会社, 清水建設株式会社), JNC TJ7400 2001-005 .
- 150) 見掛信一郎, 杉原弘造, 永崎靖志, 天野 格 (2000): 超深地層研究所における研究の進め方と研究坑道の設計概念, 日本原子力学会 2000 年秋の大会予稿集, p.691 .
- 210) 吉川和夫, 松井裕哉, 前田信行 (2001): 超深地層研究所建設に伴う坑道周辺岩盤中の掘削影響に関する予察的解析, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2001-012 .

### 3 . 東濃鉦山における調査試験研究

#### (1) 東濃鉦山における調査試験研究全般

- 10) 濱 克宏, 谷口直樹, 本田 明 (2000): 東濃鉦山における工学材料長期浸漬試験 - 金属材料編 -, サイクル機構技術資料, JNC TN7430 2000-002 .
- 32) Mikake,S., Yoshida,H., Koide,K., Yanagizawa,K., Ogata,N., and Maekawa,K. (2000): Methodology development for modeling of heterogeneous conductivity fields for a sandstone type uranium deposit, central Japan , Engin. Geol. , 56, pp.185-195.
- 47) 坂井哲郎, 柿田 毅 (2000): 東濃鉦山坑内通気網解析, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 三井鉦山エンジニアリング株式会社), JNC TJ7420 2000-002 .
- 79) 濱 克宏 (2000): 東濃鉦山における工学材料長期浸漬試験 - 地質環境編, サイクル機構技術資料, JNC TN7430 2001-001 .
- 80) 濱 克宏, 三ツ井誠一郎, 青木里栄子, 広瀬郁朗 (2000): 東濃鉦山における工学材料長期浸漬試験 - ガラス材料編, サイクル機構技術資料, JNC TN7430 2000-001 .
- 114) 核燃料サイクル開発機構 (2000): 東濃鉦山における調査試験研究年度計画書 (平成 12 年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2000-004 .
- 173) 坂井哲郎 (2001): 通気・防災技術の展開と地下 GIS, 月刊技術士, pp.2-5 .

## (2) ナチュラルアナログ研究

- 93) Horikawa, Y., Komuro, K. and Toyoda, S. (2000): Radiation-damage halos in quartz : A geodosimeter for natural radionuclide retention. 2000 Western Pacific Geophysics Meeting, Eos, Trans., Amer. Geophys. Union, Suppl., 81, WP255, V52A-15, American Geophysical Union .
- 94) 堀川循正, 小室光世, 豊田 新 (2000): ウラン鉱床中石英の放射線損傷の研究(1) - 照射実験試料とウラン鉱石の CL 観察, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ma-P005 .
- 129) 小室光世, 豊田新, 磯部博志, 柳瀬信之, 堀川循正, 浅井貴之 (2000): 石英の放射線損傷解析によるウラン鉱床のナチュラルアナログ研究, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ac-012 .

## (3) 岩盤の力学的安定性に関する試験研究

- 12) 畑 浩二, 松井裕哉, 佐藤稔紀 (2000): 大深度地下における AE 法・DRA 法を用いた地圧測定, 第 30 回岩盤力学に関するシンポジウム講演論文集, pp.328-332 .
- 13) 畑 浩二, 大内 一 (2000): 99SE-02 孔のコアを用いた AE 法による初期応力測定, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社大林組), JNC TJ7430 2000-002 .
- 15) 市川康明, 徐 庸碩 (2000): 長期岩盤挙動評価のための微視的観点による基礎的研究, サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 名古屋大学), JNC TJ7400 2000-003 .
- 21) 加藤春實 (2000): 99SE-02 孔における水圧破碎法による初期応力測定, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 同和工営株式会社), JNC TJ7430 2000-001 .
- 39) 西田 薫, 前村庸之 (2000): 不飽和領域の原位置計測手法の研究, サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 株式会社ダイヤコンサルタント), JNC TJ7400 2000-004 .
- 41) 大久保誠介 (2000): 長期岩盤挙動評価のための巨視的観点による基礎的研究, サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 東京大学), JNC TJ7400 2000-002 .
- 49) Sato, T., Kikuchi, T., and Sugihara, K. (2000): In-situ experiments on an excavation disturbed zone induced by mechanical excavation in Neogene sedimentary rock at Tono mine, central Japan, Engin. Geol., 56, pp.97-108.
- 50) 瀬戸政宏, 前田信行, 松井裕哉 (2000): 岩盤空洞の安定性に関する評価方法の検討 平成 11 年度共同研究報告書, サイクル機構技術資料, JNC TY7430 2000-001 .
- 66) 薛 自求 (2000): DSCA 法を用いた土岐花崗閃緑岩の異方性に関する室内試験, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 基礎地盤コンサルタント株式会社), JNC TJ7430 2000-003 .
- 91) 平賀忠行, 今井保行 (2001): 岩石用長期クリープ試験機的设计・製作, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社丸東製作所), JNC TJ7410 2001-001 .

- 92) 櫛原 昇, 松井裕哉, 三枝博光, 今井 久, 雨宮 清 (2000): 地下空洞周辺岩盤を対象とした浸透流解析における境界条件設定方法に関する提案, 土木学会第 55 回年次学術講演会, III-B171.
- 96) 市川康明 (2001): 長期岩盤挙動評価のための微視的観点による基礎的研究 (平成 12 年度), サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 名古屋大学), JNC TJ7400 2001-002.
- 118) 加藤春實 (2001): 00SE-03 孔における水圧破碎法による初期応力測定, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 同和工営株式会社), JNC TJ7430 2001-001.
- 135) 前田信行, 松井裕哉 (2001): 東濃鉱山における初期応力状態の評価解析, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2001-004.
- 136) 前田信行, 松井裕哉 (2001): 東濃鉱山における双設坑道の安定解析, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2001-005.
- 137) 前田信行, 松井裕哉, 瀬戸政宏 (2001): 資源環境技術総合研究所 / サイクル機構共同研究報告書 - 岩盤空洞の安定性に関する評価方法の検討 - 平成 12 年度共同研究報告書, サイクル機構技術資料, JNC TY7400 2001-001.
- 159) 中間茂雄, 前田信行, 松井裕哉, 吉川和夫 (2001): 鉛直ボーリング孔を利用した東濃鉱山における初期応力状態の評価, 日本原子力学会 2001 年春の年会要旨集, p.621.
- 165) 大久保誠介 (2001): 長期岩盤挙動評価のための巨視的観点による基礎的研究 (平成 12 年度), サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 東京大学), JNC TJ7400 2001-003.
- 176) 佐藤伸哉, 向井和行, 富浦裕司 (2001): 00SE-03 孔におけるポアホールテレビ観察, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社レアックス), JNC TJ7420 2001-003.
- 177) Seto, M., Maeda, N. and Matsui, H. (2000): Vertical stresses around a drift excavated in sedimentary rock determined by the acoustic emission technique. Proc. GeoEng2000, Melbourne, Australia, 19-24 November 2000, Uw0940.
- 184) 杉原弘造, 吉岡尚也, 松井裕哉, 佐藤稔紀, 山本卓也 (2000): 堆積軟岩での立坑掘削に伴う岩盤物性変化の現場計測による検討, 資源と素材, 116, pp.821-830.
- 200) 薛 自求, 松井裕哉, 吉川和夫, 松村真一郎 (2001): ボーリングコアの弾性波速度異方性と地下応力の関係について, 第 31 回岩盤力学に関するシンポジウム講演論文集, pp.106-110.
- 209) 吉川和夫, 前田信行, 松井裕哉 (2000): 堆積軟岩のスケール効果と破壊現象との関係に関する一考察, 応用地質学会中部支部平成 12 年度支部研究発表会講演予稿集, pp.43-46.

#### (4) 坑道周辺の地質環境に関する調査研究

- 4) 安部 透, 松井裕哉, 堀田政國, 木下直人 (2000): 坑道掘削に伴う亀裂の透水特性変化に関する基礎実験, 第 30 回岩盤力学に関するシンポジウム講演論文集, pp.268-272.
- 11) 濱 克宏, 吉田英一, 青木和弘, West, J.M., Bateman, K., Milodowski, A.E. (2000): 微生物活動による閃緑岩からのスメクタイト生成反応の可能性について - 室内試験結果から -, 日本原子力学会 2000 年春の年会講演要旨集, p.978.

- 29) 松岡永憲 (2000): 北延 NATM 坑道における間隙水圧計測システムの設置, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 大成基礎設計株式会社), JNC TJ7440 2000-002 .
- 83) 濱 克宏, 吉田英一, Bateman, K. (2000): 微生物が触媒する閃緑岩からのスメクタイト生成反応の可能性について, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Mc-006 .
- 84) Harrington, J.F. and Horseman, S.T. (2000): Stress-sensitivity of the hydraulic properties of a clay-bearing fault gouge from the Tsukiyoshi Fault, Tono Mine, central Japan. JNC Tech. Rep. (Work performed by British Geological Survey under contract with JNC), JNC TJ7400 2000-016 .
- 104) 岩月輝希, 村上由記, 長沼 毅, 佐竹 洋 (2000): 硫黄同位体比にもとづく地下微生物の酸化・還元活性の考察, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Mc-010 .
- 138) 前村庸之, 徳丸昌則 (2001): 不飽和領域の原位置計測手法の研究, サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 株式会社ダイヤコンサルタント), JNC TJ7400 2001-001 .
- 139) 前村庸之, 徳丸昌則 (2001): 不飽和領域の原位置計測手法の開発, サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 株式会社ダイヤコンサルタント), JNC TJ7400 2001-006 .
- 144) 松岡永憲 (2001): 北延 NATM 坑道における間隙水圧計測システムの設置, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 大成基礎設計株式会社), JNC TJ7410 2001-003 .
- 145) 松岡永憲 (2001): 北延 NATM 坑道における間隙水圧計測システムの設置, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 大成基礎設計株式会社), JNC TJ7440 2001-002 .
- 148) Metcalfe, R., Amano, K., Hama, K., Kunimaru, T., Yoshida, H., Milodowski, A.E. and Gillespie, M.R. (2000): Characterising groundwater flow histories in faults: a case study of the Tsukiyoshi Fault, Tono Mine, Japan. 2000 Western Pacific Geophysics Meeting, Eos, Trans., Amer. Geophys. Union, Suppl., 81, WP40, H31A-09, American Geophysical Union.
- 152) 森川徳敏, 徐 勝, 岩月輝希 (2000): 東濃鉍山周辺の地下水中のヘリウム同位体比, 2000 年度日本地球化学会年会講演要旨集, p.138 .
- 153) Murakami, Y., Iwatsuki, T. and Naganuma, T. (2000): Microbial abundance and activity in deep groundwater in the Tono uranium mine area. Abst. 2nd Euroconference Bacterial-Metal/Radionuclide Interaction: Basic Research and Bioremediation, Rossendorf/Dresden, Germany, 30 August-1 September 2000, pp.41-42.
- 154) 長沼 毅, 今中忠行, 跡見晴幸, 村上由記, 岩月輝希 (2000): 深部地質環境に対する微生物の影響に関する研究 (先行基礎工学共同研究), サイクル機構技術資料, JNC TY7400 2000-002 .
- 155) Naganuma, T., Murakami, Y. and Iwatsuki, T. (2000): Formation of colloidal iron hydroxide by deep subsurface bacteria. Abst. PACIFICHEM 2000, Honolulu, Hawaii, December 14-19, 2000, Bios63 .
- 197) West, J.M., Hama, K., Bateman, K., Coombs, P., Hards, V., Milodowski, A.E., Wetton, P. and Yoshida, H. (2000): Laboratory examination of microbial perturbations in a granitic environment. Abst. 24th International Symposium on the Scientific Basis for Nuclear Waste Management (MRS2000), Sydney, Australia, 27-31 August 2000, p.37.

215) Zhou, Q.Y., Shimada, J., Matsui, H. and Sato, A. (2000): Numerical analysis of the sensitivity of electrical resistivity tomography to the water movement in fractured rocks. 2000 Western Pacific Geophysics Meeting, Eos, Trans., Amer. Geophys. Union, 81, WP51, H51A-07, American Geophysical Union.

#### 4. 地質環境の長期安定性に関する研究

##### (1) 地質環境の長期安定性に関する研究全般

- 19) 核燃料サイクル開発機構(2000): 将来予測研究シンポジウム - 日本列島の過去・現在・未来 - プログラム講演要旨, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2000-003.
- 76) Fujiwara, O., Nakatsuka, N., Nohara, T., Ishimaru, T. and Umeda, K. (2000): Long-term stability of the geological environment in Japan. Proc. 2000 Joint Workshop on HLW Management between Korea and Japan, Taejeon, Korea, November 6-7, 2000.
- 101) 石丸恒存, 郡谷順英, 中司 昇, 鈴木元孝 (2000): 長期安定性評価を目指した「地質環境データベース」の構築, 応用地質学会中部支部平成 12 年度支部研究発表会講演予稿集, pp.31-36.
- 161) 中司 昇, 湯佐泰久 (2000): 地層処分における地質環境の役割と将来予測, 日本地質学会第 107 年学術大会講演要旨, p.10.
- 190) 田中義廣, 高市和義, 飯室 弘 (2001): 環境変動シミュレーション技術に関する調査, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社 CRC 総合研究所), JNC TJ7420 2001-002.

##### (2) 隆起・侵食, 気候・海水準変動に関する研究

- 5) 藤原 治, 鎌滝孝信, 増田富士雄 (2000): 前進型外浜堆積物中の貝殻の起源: 千葉県九十九里浜の完新統の  $^{14}\text{C}$  年代値, 月刊地球, 22, pp.202-205.
- 30) 松末和之, 藤原 治, 末吉哲雄 (2000): 日本列島における最終氷期最寒冷期の気候, サイクル機構技報, No.6(2000.3), pp.93-103.
- 57) 高木俊男, 柳田 誠, 藤原 治, 小澤昭男 (2000): 河岸段丘から推定した河床高度変化の歴史, 地学雑誌, 109, pp.366-382.
- 74) 藤原 治 (2000): 日本の海成段丘アトラスの作成, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Qa-P007.
- 75) Fujiwara, O., Masuda, F., Sakai, T., Irizuki, T. and Fuse, K. (2000): Tsunami deposits in Holocene bay mud in southern Kanto region, Pacific coast of central Japan. Sed. Geol., 135, pp.219-230.
- 116) 鎌滝孝信 (2000): 堆積シーケンス中における浅海棲底生動物群の形成: 中部更新統下総層群藪層の例, 日本地質学会第 107 年学術大会講演要旨, p.127.

- 130) 近藤康生, 鎌滝孝信 (2000): 二枚貝類を中心とした下総層群の底生動物化石群集, 特に生活様式組成と堆積作用の関係, 2000 年第四紀学会大会シンポジウム講演要旨, pp.158-159 .
- 140) 増田富士雄, 藤原 治, 酒井哲弥 (2000): 房総半島太平洋側の沖積層と海水準変動 - 特に, 九十九里浜平野と夷隅川低地の完新統, 2000 年第四紀学会大会シンポジウム講演要旨, pp.172-173 .
- 163) Ohmori, H., Sanga, T., Fujiwara, O. and Sugai, T. (2000): Distribution of erosion rates over the Japanese Islands and its regional characteristics. Trans., Jap. Geomorph. Union, 21, pp.41-42 .
- 164) 岡崎浩子, 佐藤弘幸, 中里裕臣, 鎌滝孝信 (2000): 中部更新統下総層群礫層から復元された砂嘴 - 内湾システム, 堆積学研究, 52, pp.63-74 .
- 174) 三箇智二, 藤原 治 (2000): 高度分散量を用いた数値地図からの地形・地質的特徴の抽出, 情報地質, 11, pp.118-121 .
- 183) Sugai, T., Ohmori, H., Sanga, T. and Fujiwara, O. (2000): Hypsometric integral for small drainage basins in tectonically active regions and its geomorphological implications. Trans., Jap. Geomorph. Union, 21, pp.59-60.

### (3) 火山活動に関する研究

- 6) 古澤 明, 梅田浩司 (2000): 別府湾コアにおける最近 7000 年間の火山灰層序 - ピストンコア中の火山灰と阿蘇、九重火山のテフラとの対比, 地質学雑誌, 106, pp.31-49 .
- 89) 林信太郎, 梅田浩司, 棚瀬充史, 二ノ宮淳 (2000): 両白山地, 最近 300 万年間の火山活動の時空分布, 日本地質学会第 107 年学術大会講演要旨, p.170 .
- 90) 林信太郎, 梅田浩司, 酒寄淳史, 棚瀬充史, 二ノ宮淳 (2000): 両白山地の鮮新 - 更新世火山活動の時空分布, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Va-P016 .
- 194) 梅田浩司, 小松 亮, 棚瀬充史, 湯佐泰久 (2001): 西南日本領家帯 (四国), 高浜花崗岩類の冷却史, 特に新第三紀貫入岩類による熱的影響, 岩石鉱物科学, 30, pp.17-27 .

### (4) 地震・断層活動に関する研究 (陸域地下構造フロンティア研究を含む)

- 1) 200 万分の 1 活断層図編纂ワーキンググループ (2000): 「200 万分の 1 日本列島活断層図」 - 過去数十万年間の断層活動の特徴 - , 活断層研究, 19, pp.3-12 .
- 2) 200 万分の 1 活断層図編纂ワーキンググループ (2000): 200 万分の 1 日本列島活断層図, 活断層研究, 19, 1sheet .
- 40) 野原 壯, 郡谷順英, 今泉俊文 (2000): 活断層 GIS データベースを用いた地殻の歪速度の推定, 活断層研究, 19, pp.23-32 .
- 71) 安藤雅孝, 活断層研究チーム (2000): 跡津川断層帯での地殻活動研究, サイクル機構技報, No.9(2000.12), pp.131-141 .



- 73) 吾妻瞬一, 北川有一, 脇田 宏 (2000): 岐阜県土岐市の東濃鉱山周辺で行っている地殻内部の多成分連続観測について, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ai-011 .
- 109) Jin, A.S., Moya, C.A. and Ando, M. (2000): Simultaneous determination of site responses and source parameters of small earthquakes along the Atotsugawa fault zone, central Japan. Bull. Seismol. Soc. Amer., 90, pp.1430-1445 .
- 125) 北川有一, 吾妻瞬一 (2000): 東濃鉱山周辺における地下水位の地殻ひずみ・気圧応答の周波数特性と地震に伴う地下水位変動の研究, サイクル機構技報, No.8(2000.9), pp.57-63 .
- 126) 北川有一, 吾妻瞬一, 脇田 宏 (2000): 岐阜県土岐市東濃鉱山周辺で行っている地下水位測定及び他の観測項目の地震関連現象の考察, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ai-P003 .
- 132) 熊澤峰夫, 國友孝洋, 横山由紀子, 中島崇裕, 鶴我佳代子 (2000): アクロス: 理論と技術開発, 及び将来展望, サイクル機構技報, No.9(2000.12), pp.115-129 .
- 133) Kumazawa, M., Yokoyama, Y. and Nakajima, T. (2000): A model for decomposition of electromagnetic transfer function in 3D structure. 2000 Fall Meeting, San Francisco, California, December 15-19, 2000. Eos, Trans, Amer. Geophys. Union, Suppl., 81, GP61B-05, American Geophysical Union.
- 134) 國友孝洋, 熊澤峰夫 (2000): 東濃アクロス地震計アレー観測システム, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ai-P005 .
- 156) 中島崇裕, 國友孝洋, 熊澤峰夫, 横山由紀子 (2000): 電気ダイポールからの送信信号モニタリングの試み, 第 108 回地球電磁気・地球惑星圏学会講演会講演予稿集, p.153 .
- 157) 中島崇裕, 國友孝洋, 熊澤峰夫, 横山由紀子 (2000): 東濃電磁アクロスシステム技術開発と送信受信点間の伝達関数の試験観測, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Eh-P002 .
- 158) 中島崇裕, 國友孝洋, 熊澤峰夫, 横山由紀子 (2000): 電磁アクロスの開発と送信実験, 東京大学地震研究所彙報, 75, pp.413-428 .
- 162) 野原 壯, 郡谷順英, 今泉俊文 (2000): 活断層 GIS データを用いた地殻の歪速度, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, SI-P014 .
- 169) 陸域地下構造フロンティア研究プロジェクト (2001): 陸域地下構造フロンティア研究報告書, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2001-008 .
- 193) 鶴我佳代子, 熊澤峰夫, 國友孝洋, 山岡耕春 (2000): 可搬型弾性波送信震源 (HIT) の実用化に向けた加振部設置技術の開発, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Ai-P002 .
- 204) 横山由紀子 (2000): 情報量規準を使用しない AR オーダの推定法, 第 15 回デジタル信号処理シンポジウム, pp.197-202 .
- 205) 横山由紀子, 熊澤峰夫, 國友孝洋, 中島崇裕 (2000): 精密に制御された電磁波を用いた 3 次元精密構造探査のためのデジタル信号波形の設計, 東京大学地震研究所彙報, 75, pp.375-392 .

- 206) 横山由紀子, 熊澤峰夫, 中島崇裕 (2000): 射線モデルと自己回帰型のモデルを組み合わせた電磁場伝達関数の分解方法 - 水平成層構造の場合, 東京大学地震研究所彙報, 75, pp.393-411 .
- 207) 横山由紀子, 中島崇裕, 熊澤峰夫 (2000): 人工電磁波源を用いた 3 次元構造探査で扱う送受信点間伝達関数の性質とその処理法, 地球惑星科学関連学会 2000 年合同大会予稿集, Eh-P001 .
- 208) 横山由紀子, 中島崇裕, 熊澤峰夫 (2000): 人工電磁波源を用いた 3 次元構造探査で扱う送受信信号間伝達関数の性質とその処理法 2, 第 108 回地球電磁気・地球惑星圏学会講演会講演予稿集, p.164 .

## 5 . その他

- 17) 伊藤 茂, 徐 勝, 阿部雅人, 渡辺雅人, 有我真希, 岩月輝希 (2000): 東濃地科学センターにおけるタンデム型加速器質量分析計の現状, 第 12 回名古屋大学タンデトロン加速器質量分析計シンポジウム (平成 11(1999)年度) 報告, pp.63-33 .
- 20) 核燃料サイクル開発機構 (2000): 核燃料サイクル開発機構東濃地科学センター外部発表資料集 - 1999 年 - , サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2000-005 .
- 25) 喜多治之, 佐藤稔紀, 陳 友晴, 西山 孝 (2000): 温度履歴による花崗岩のマイクロクラックの変化, 三井建設技術研究報告, 24, pp.7-10 .
- 26) 喜多治之, 佐藤稔紀, 陳 友晴, 西山 孝, 金子勝比古 (2000): 栗橋花崗閃緑岩の三軸圧縮によって形成されるマイクロクラックの進展, 資源・素材学会平成 12 年度春季大会講演集( )資源編, pp.69-70 .
- 48) 真田佳典, 渡辺俊樹, 藪内 聡 (2000): 精密周波数制御連続電磁波調査法の研究 - 先行基礎工学分野に関する研究詳細報告書 - , サイクル機構技術資料, JNC TY7400 2000-001 .
- 65) 渡辺俊樹, 高瀬嗣郎 (2000): 弾性波フルウェーブインバージョンの実データへの適用性に関する研究, サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 京都大学), JNC TJ7400 2000-001 .
- 68) 吉添 誠, Dershowitz,W. (2000): SKB TRUE Block Scale 試験における解析作業の実施, サイクル機構技術資料( 契約業務報告書; 三菱商事株式会社), JNC TJ7400 2000-012 .
- 69) 湯佐泰久 (2000): 放射性廃棄物処分研究と地質学の役割, 日本地質学会第 107 年総会・討論会講演要旨, p.10 .
- 70) Alexander,W.R., McKinley,I.G., Ota,K., Mōri,A., Frieg,B. and Kickmaier,W. (2000): The study of in situ radionuclide retardation in the geosphere: Examples from Nagra's Grimsel Test Site, Switzerland. Proc. 5th International Conference on Nuclear and Radiochemistry, Pontresina, Switzerland, 3-8 September 2000.
- 82) 濱 克宏, 徐 勝, 岩月輝希 (2000): サイクル機構における加速器質量分析計の運転状況, 日本放射化学会誌, 別冊 1 Supplement 2, p.155 .

- 87) Hashem, M., Mohamed, A.A., Watanabe, K., Ali, N.A., Mohamed, A.A., Abdel-lah, A.K. and Saegusa, H. (2000): Grain size effect on both saturation and pollutant migration, 土木学会第 55 回年次学術講演会, III-B359.
- 102) 伊藤 茂, 徐 勝, 阿部雅人, 渡辺雅人, 有我真希, 岩月輝希 (2000): 東濃地科学センターにおけるタンデム型加速器の現状, 第 13 回タンデム加速器およびその周辺技術の研究会報告書, pp15-17.
- 103) 伊藤 茂, 徐 勝, 阿部雅人, 渡辺雅人, 有我真希, 岩月輝希 (2001): 東濃地科学センターにおけるタンデム型加速器の現状, 第 3 回 AMS シンポジウム, pp.42-45.
- 105) 岩月輝希, 徐 勝, 伊藤 茂 (2000):  $^{14}\text{C}$  測定 of 地質学への応用, 第 48 回質量分析総合討論会(2000)講演要旨集, pp.266-267.
- 113) 核燃料サイクル開発機構 (2000): 平成 12 年度地層科学研究情報・意見交換会 - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2000-003.
- 117) 亀井斗禮 (2000): 深部地質環境の調査・解析技術の体系化に関する研究, サイクル機構技術資料(研究委託報告書; 社団法人システム総合研究所), JNC TJ7400 2000-015.
- 121) 菊地慎二 (2001): 深部岩盤における初期応力測定用のレコーダー, 方位傾斜計の製作, サイクル機構技術資料(契約業務報告書; 日本国土開発株式会社), JNC TJ7410 2001-004.
- 122) Kita, H., Sato, T., Chen, Y., Nishiyama, T. and Kaneko, K. (2000): Processes of microcracking and faulting in granite. Abst. 31st International Geological Congress, Rio de Janeiro, Brazil, August 6-7, 2000, CD-ROM.
- 123) 喜多治之, 佐藤稔紀, 金子勝比古 (2000): 高温下における岩石の力学・透水特性, 第 21 回西日本岩盤工学シンポジウム論文集, pp.33-38.
- 124) 喜多治之, 佐藤稔紀, 辻上博司, 陳 友晴, 西山 孝, 金子勝比古 (2000): 温度履歴に伴う砂岩の間隙構造の変化, 資源と素材, 116, pp.656-661.
- 143) 松井裕哉, 佐藤稔紀, 杉原弘造 (2000): 結晶質岩における坑道掘削等に伴う周辺岩盤中の間隙水圧変化, トンネル工学研究論文報告集, 10, pp.209-214.
- 167) Ota, K., Kuno, Y., Shibata, M., Yoshida, Y. and Yui, M. (2000): Laboratory work in support to CRR Phase 1 experiments at GTS. JNC Tech. Rep., JNC TN7420 2000-003.
- 181) Smith, P.A., Alexander, W.R., Kickmaier, W., Ota, K., Frieg, B. and McKinley, I.G. (2001): Development and testing of radionuclide transport models for fractured rock: Examples from the Nagra/JNC Radionuclide Migration Programme in the Grimsel Test Site, Switzerland. Jour. Contam. Hydrol., 47, pp.335-348.
- 186) 立花明子, 村上由記, 長沼 毅, 岩月輝希 (2001): 地質試料の有機分析による地下微生物相の解析, 第 17 回しんかいシンポジウム予稿集, p.166.
- 187) 高瀬嗣郎, 渡辺俊樹, 藪内 聡, 松岡俊文, 芦田 譲 (2000): フルウェーブトモグラフィの実データへの適用, 物理探査学会平成 12 年度春季学術講演会講演論文集, pp.298-301.
- 188) 竹内竜史, 仙波 毅, 中野勝志 (2000): 孔間水理試験装置の開発, サイクル機構技報, No.8(2000.9), pp.49-56.

- 196) 渡辺邦夫, 吉沢達夫, 今井 久, 三枝博光 (2000): オパリナス・クレイ層の透水係数の推定, 土木学会第 55 回年次学術講演会, CS-130 .
- 198) Xu,S., Hoshizumi,H., Ochiai,Y. and Uto,K. (2000): Preliminary results of AMS 14C dating for the younger Unzen Volcano, Japan. 2000 Western Pacific Geophysics Meeting, Eos, Trans., Amer. Geophys. Union, 81, WP240, HV41B-07, American Geophysical Union.
- 199) Xu,S., Itoh,S., Iwatsuki,T., Abe,M. and Watanabe,M. (2000): A new AMS facility at the JNC Tono Geoscience Center, Japan. Nucl. Instr. Methods Phys. Res. B, 172, pp.8-12.
- 211) 吉沢達夫, 渡辺邦夫, 三枝博光, 今井 久 (2000): Evaporation Logging System の改良と原位置での適用検討, 土木学会第 55 回年次学術講演会, CS-128 .
- 213) 湯佐泰久 (2000): 核燃料サイクル開発機構 東濃地科学センター, 安全工学, 39, pp.351-352 .
- 214) 湯佐泰久 (2000): 自然から学ぶ放射性廃棄物処分の智慧 - ナチュラルアナログ研究のすすめ, 地学雑誌, 109, pp.805-808 .

【平成 13 年 4 月～平成 14 年 3 月】

- 1) 200 万分の 1 活断層図編纂ワーキンググループ<sup>1</sup> (2002): 200 万分の 1 日本列島活断層図, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.39-40.
- 2) 天野健治, 前田勝彦, 熊崎直樹, 水野 崇, 三枝博光, 竹内真司, 濱 克宏, 中野勝志, グレン・マックランク, リチャード・メトカーフ (2001): 透水性割れ目を同定・分類する地質学的手法の開発 - [その 1: 土岐花崗岩体を例とした研究開発の現状と課題], 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.172.
- 3) Arthur, R.C., Iwatsuki, T., Hama, K., Amano, K., Metcalfe, R. and Ota, K. (2001): The redox environment of deep groundwaters associated with the Tono uranium deposit, Japan. Abst. 2001 MRS Fall Meeting, Boston, Massachusetts, November 26-30, 2001, p.687.
- 4) 朝倉利明, 東條文治, 鎌滝孝信 (2002): 下総層群地蔵堂層から産出した二枚貝化石の種組成・殻サイズ・成長速度の変化と相関について, 日本古生物学会第 151 回例会講演予稿集, p.53.
- 5) 第四紀火山カタログ委員会<sup>2</sup> (2002): 日本の第四紀火山カタログ, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.57-62.
- 6) 伊達二郎, 高橋 洋, 矢野雄策, 田中明子, 高橋正明, 大久保泰邦, 笹田政克, 梅田浩司, 中司 昇, 小松 亮 (2002): 全国地温勾配図の作成, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.67-72.
- 7) 段丘アトラスワーキンググループ<sup>3</sup> (2002): 段丘アトラス, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.108-110.
- 8) 檀原 徹, 岩野英樹, 藤原 治 (2002): 第四紀テフラ資料の高精度年代測定 - その試料評価と測定精度, トラック長解析を中心として - , わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.86-91.
- 9) Debski, W. (2001): Tomographic imaging of thermally induced fractures in granite using Bayesian inversion, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, Sr-001.
- 10) Debski, W. and Ando, M. (2002): Robust and accurate seismic (acoustic) ray tracer. Abst. 2002 Japan - Taiwan Joint Seminar on Earthquake Mechanisms and Hazards, Nagoya, Japan, January 27-28, 2002.

- 11) Doughty, C. and Karasaki, K. (2001): Evaluation of uncertainties due to hydrogeological modeling and groundwater flow analysis (2) - LBNL effective continuum model using TOUGH2, 地盤工学会「亀裂性岩盤における浸透問題に関するシンポジウム」発表論文集, pp.259-268.
- 12) 藤縄明彦, 林信太郎, 梅田浩司 (2001): 安達太良火山の K-Ar 年代 - 安達太良火山形成史の再検討, 火山, 46, pp.95-106.
- 13) 藤田夕佳, 村上由記, 長沼 毅, 岩月輝希, 濱 克宏 (2001): 東濃地域における地下水微生物相の分子系統学的解析, 第 18 回しんかいシンポジウム予稿集, p.196.
- 14) 藤原 治 (2001): 第四紀構造盆地の沈降量図, 小池一之・町田 洋編「日本の海成段丘アトラス」, 東京大学出版会, pp.95-106.
- 15) 藤原 治 (2001): 高密度での  $^{14}\text{C}$  年代測定による完新世の地震イベント解析, 第 14 回タンデム加速器およびその周辺技術の研究会報告書, サイクル機構技術資料, JNC TN7200 2001-001, pp.158-161.
- 16) 藤原 治, 鎌滝孝信 (2001): いわゆる“混合群集”を利用した地層からのイベント解読 - 南関東の完新統の津波堆積物を例として, 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.126.
- 17) 藤原 治, 三箇智二, 大森博雄 (2001): 日本列島における侵食速度の分布 (CD-ROM 版), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-015.
- 18) Hama, K., Bateman, K., Coombs, P., Hards, V.L., Milodowski, A.E., West, J.M., Wetton, P.D., Yoshida, H. and Aoki, K. (2001): Influence of bacteria on rock-water interaction, and clay mineral formation in subsurface granitic environments. Clay Min., 36, pp.599-613.
- 19) 花木達美, 鈴木 一, 小谷静夫 (2001): 東濃鉾山におけるモニタリングシステムについて, 資源と素材, 117, pp.351-353.
- 20) 原口 強, 藤原 治, 高田圭太 (2002): 海岸移動調査のためのジオスライサー地層採取法, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.95-101.
- 21) 羽佐田葉子, 熊澤峰夫 (2001): ブートストラップ法を用いた存否イベント解析の誤差評価, 日本地震学会講演予稿集 2001 年度秋季大会, P101.
- 22) ハスバートル, 安江健一, 竹内 章 (2001): 跡津川断層中部で新たに確認された断層露頭とその意義, 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.270.
- 23) ハスバートル, 安江健一, 竹内 章, 那須忠利 (2001): 跡津川断層中部で新たに確認された断層露頭 (速報), 活断層研究, 20, pp.46-51.
- 24) 畑 浩二, 丸山 誠, 鳥井原誠 (2002): 土岐花崗岩体の力学物性評価のための室内試験, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社大林組), JNC TJ7400 2001-016.
- 25) 広城吉成, 神野健二, 佐伯和利, 池見洋明, 岩月輝希, 松岡信明, 岡村正紀, 田籠久也 (2002): 環境同位体による塩水化地下水の地球化学的考察, 水工学論文集, 46, pp.205-210.

- 26) 細田 宏, 下山昌宏, 永野修一, 竹村聖吾 (2002): MIU-2 号孔における地下水水圧・水質観測装置の引上げ作業, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 応用地質株式会社), JNC TJ7440 2001-035 .
- 27) 細野隆康, 前村庸之 (2002): 不飽和領域の原位置計測手法の研究 (平成 13 年度), サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 株式会社ダイヤコンサルタント), JNC TJ7400 2001-014 .
- 28) 市川康明 (2002): 長期岩盤挙動評価のための微視的観点による基礎的研究, サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 名古屋大学), JNC TJ7400 2001-017 .
- 29) 稲葉 薫, 登坂博之, 三枝博光, 徳永朋祥 (2001): 海域を含む大規模地表・地下水モデリングの試み, 日本応用地質学会平成 13 年度研究発表会講演論文集, pp.339-342 .
- 30) 石丸恒存, 藤原 治, 郡谷順英, 中司 昇, 三箇智二, 布施圭介 (2001): 日本列島における地下地質情報 (CD-ROM 版), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-016 .
- 31) 石丸恒存, 角田地文 (2002): 日本列島における大規模火砕流の特徴と熱的影響解析, サイクル機構技報, No.14(2002.3), pp.161-170 .
- 32) 伊藤久男, 桑原保人, 今西和俊, 木口 努, 西上欽也, 水野高志, ハスバートル, 竹内 章 (2001): 発破による茂住祐延断層の微細構造: 概要, 日本地震学会講演予稿集 2001 年度秋季大会, P054 .
- 33) 伊藤 茂, 徐 勝, 阿部雅人, 渡辺雅人, 有我真希, 岩月輝希 (2001): 東濃地科学センターにおけるペレットの現状, 第 14 回タンデム加速器およびその周辺技術の研究会報告書, サイクル機構技術資料, JNC TN7200 2001-001, pp.51-54 .
- 34) 岩月輝希, 濱 克宏 (2001): 東濃ウラン鉱床を対象としたナチュラルアナログ研究: 地下水・鉱物データに基づく酸化還元フロントの解析, 日本原子力学会 2001 年秋の大会予稿集, p.933 .
- 35) Iwatsuki,T., Metcalfe,R., Amano,K., Hama,K., Arthur,R.C. and Sasamoto,H. (2001): Data book on groundwater chemistry in the Tono area. JNC Tech. Rep., JNC TN7450 2001-003 .
- 36) 岩月輝希, 村上由記, 長沼 毅 (2001): 深部地下環境における微生物によるコロイド生成, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, A6-P003 .
- 37) 岩月輝希, 佐竹 洋, 吉田英一, 濱 克宏 (2001): 方解石の結晶形・同位体に基づく地下深部の古水理地球化学的研究, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, A0-P003 .
- 38) 岩月輝希, 徐 勝, 伊藤 茂 (2001): 岐阜県東濃地域における C-14 を用いた研究の現状, 第 14 回タンデム加速器およびその周辺技術の研究会報告書, サイクル機構技術資料, JNC TN7200 2001-001, pp.108-111 .
- 39) Iwatsuki,T., Xu,S., Mizutani,Y., Hama,K., Saegusa,H. and Nakano,K. (2001): Carbon-14 study of groundwater in the sedimentary rocks at the Tono study site, central Japan. Appl. Geochem., 16, pp.849-859.

- 40) 海域地質構造マップワーキンググループ<sup>4</sup>(2002): 日本周辺海域の地質構造マッピング, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.41-46.
- 41) 角田地文, 石丸恒存, 松崎達二, 鎌田浩毅, 檀原 徹(2001): 日本列島における大規模火砕流の特徴と基盤岩への熱的影響解析, 日本応用地質学会中部支部平成13年度研究発表会講予稿集, pp.15-20.
- 42) 核燃料サイクル開発機構(2001): 第14回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会報告書, サイクル機構技術資料, JNC TN7200 2001-001.
- 43) 核燃料サイクル開発機構(2001): 超深地層研究所計画の現状 - 平成8年度~平成11年度, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2001-001.
- 44) 核燃料サイクル開発機構(2001): 東濃鉱山における調査試験研究年度報告書(2000年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2001-007.
- 45) 核燃料サイクル開発機構(2001): 超深地層研究所計画年度報告書(平成12年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2001-011.
- 46) 核燃料サイクル開発機構(2001): 広域地下水流動研究年度計画書(平成11年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-001.
- 47) 核燃料サイクル開発機構(2001): 広域地下水流動研究年度計画書(平成12年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-002.
- 48) 核燃料サイクル開発機構(2001): 超深地層研究所計画年度報告書(平成11年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-003.
- 49) 核燃料サイクル開発機構(2001): 超深地層研究所計画年度計画書(平成11年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-004.
- 50) 核燃料サイクル開発機構(2001): 東濃鉱山における調査試験研究年度計画書(平成11年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-005.
- 51) 核燃料サイクル開発機構(2001): 東濃鉱山における調査試験研究年度報告書(平成11年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-006.
- 52) 核燃料サイクル開発機構(2001): 広域地下水流動研究年度報告書(平成11年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-008.
- 53) 核燃料サイクル開発機構(2001): 超深地層研究所地層科学研究基本計画, サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-009.
- 54) 核燃料サイクル開発機構(2001): 東濃鉱山における調査試験研究年度計画書(2001年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-010.
- 55) 核燃料サイクル開発機構(2001): 平成13年度地層科学研究情報・意見交換会 - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-011.
- 56) 核燃料サイクル開発機構(2001): 広域地下水流動研究年度計画書(平成13年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-012.
- 57) 核燃料サイクル開発機構(2001): 超深地層研究所計画年度計画書(平成13年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-013.



- 58) 核燃料サイクル開発機構 (2001): 地質環境の長期安定性に関する研究年度計画書 (平成 13 年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-014 .
- 59) 核燃料サイクル開発機構 (2001): 広域地下水流動研究年度報告書 (平成 12 年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-017 .
- 60) 核燃料サイクル開発機構 (2002): 超深地層研究所地層科学研究基本計画, サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-018 .
- 61) 核燃料サイクル開発機構 (2002): 超深地層研究所計画年度計画書 (平成 13 年度改定版), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-019 .
- 62) 鎌滝孝信, 藤原 治 (2001): 急速埋没イベントを示す貝類化石群: 千葉県館山市に分布する完新統の例, 日本第四紀学会 2001 年大会講演要旨集, pp.20-21 .
- 63) 鎌滝孝信, 藤原 治 (2001): 房総半島九十九里浜の完新統における前浜 - 外浜環境を示す貝化石群, 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.125 .
- 64) 鎌滝孝信, 藤原 治 (2001): 地層に高密度で放射性炭素年代値を入れる意義: 房総半島における研究例から, 第 14 回タンデム加速器およびその周辺技術の研究会報告書, サイクル機構技術資料, JNC TN7200 2001-001, pp.118-121 .
- 65) 鎌滝孝信, 藤原 治 (2002): 九十九里浜平野地下に分布する完新統の発達過程, 日本古生物学会第 151 回例会講演予稿集, p.52 .
- 66) 神谷俊治, 狩野公明, 供田 高 (2001): 平成 13 年度正馬川モデル流域河川流量計の拡充, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社三弘), JNC TJ7440 2001-031 .
- 67) 河村知徳, 太田陽一, 荒井良祐, 小先章三, 平田 直, 伊藤谷生, 井川 猛, 石丸恒存 (2002): 野島断層 3 次元・2 次元高分解能反射法地震探査, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.51-54 .
- 68) 菊地直樹, 近藤康生, 鎌滝孝信 (2001): 天草下島牛深沖で漁網に引き上げられた絶滅種トウキョウホタテを含む貝類遺骸群 (予報), 日本古生物学会 2001 年年会講演要旨集, p.189 .
- 69) 小出 馨 (2001): 衛星データによる地すべり地の規模及び活動性の推定, 日本応用地質学会平成 13 年度研究発表会講演論文集, pp.183-186 .
- 70) 小出 馨, 前田勝彦 (2001): 東濃地域を対象とした広域地下水流動研究の現状 (その 2), サイクル機構技報, No.12(2001.9), pp.107-122 .
- 71) 小出 馨, 杉原弘造, 長谷川健, 武田精悦 (2001): 花崗岩を対象とした深部地質環境の調査技術開発の課題と現状 - 測定データの品質保証の観点で構築した地下水調査法の提案, 資源と素材, 117, pp.785-793 .
- 72) 小松 亮, 黒墨秀行, 福田大輔, 浅沼幹祐, 梅田浩司 (2002): 温泉地化学データベースの作成, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.77-81 .
- 73) 小松 亮, 福田大輔, 浅沼幹弘, 石丸恒存, 佐野有司 (2001): 紀伊半島における温泉ガスのヘリウム同位体比分布, 日本火山学会講演予稿集 2001 年度秋季大会, p.162 .

- 74) 近藤康生, 鎌滝孝信 (2001): 房総第四系の二枚貝類を中心とする陸棚底生群集の再評価、特に貧化石層に含まれる低多様度の群集について, 第四紀研究, 40, pp.259-265 .
- 75) 熊崎直樹, 水野 崇, 前田勝彦, 竹内真司, 中野勝志, グレン・マックランク, 天野健治 (2001): 透水性割れ目を同定・分類する地質学的手法の開発 - [ その3: 地球物理学的手法(物理検層)を用いた試み ], 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.173 .
- 76) 國友孝洋, 熊澤峰夫 (2001): 回転型 ACROSS 震源装置の新制御システム, 日本地震学会講演予稿集 2001 年度秋季大会, P100 .
- 77) 倉本真一, 中尾征三, 湯浅真人, 村上文敏, 長谷川功, 中司 昇, 高木俊夫, 雷 興林 (2001): 「日本周辺海域音波探査データベース (CD-ROM 版)」(編集・発行 地質調査所).
- 78) 黒瀬 歩, Brouard, B., 青木和弘, 前川恵輔, 川村 淳 (2002): 間隙水圧の地震時動的挙動解析, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.55-56 .
- 79) 町田 洋 (2002): 日本列島の海岸線: 「日本の段丘アトラス」, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.23-29 .
- 80) 前田勝彦, 熊崎直樹, 水野 崇, 濱 克宏, 中野勝志, リチャード・メトカーフ, 天野健治 (2001): 透水性割れ目を同定・分類する地質学的手法の開発 - [ その2: 鉱物学的・地球化学手法を用いた試み ], 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.172 .
- 81) Mamada, Y., Kuwahara, Y., Ito, H. and Takenaka, H. (2001): 3-D finite-difference simulation of fault zone trapped waves - Application to the fault zone structure of the Mozumi-Sukenobu Fault, central Japan. 2001 Fall Meeting, Eos, Trans. Amer. Geophys. Union, 82, F886, S41A-0589, American Geophysical Union.
- 82) 儘田 豊, 桑原保人, 伊藤久男, 竹中博士 (2001): 3次元差分法による断層トラップ波のシミュレーション - 茂住祐延断層への適用, 日本地震学会講演予稿集 2001 年度秋季大会, C49 .
- 83) Martin, A.J., Takahashi, M. and Amano, K. (2001): West to east shift of the locus of magmatism of small monogenetic volcanoes in the first collided oceanic arc segment, south Fossa Magna, 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.49 .
- 84) 増田富士雄, 藤原 治, 酒井哲弥, 荒谷 忠 (2001): 房総半島九十九里浜平野の海浜堆積物から求めた過去 6000 年間の相対的海水準変動と地震隆起, 地学雑誌, 110, pp.650-664 .
- 85) 増田富士雄, 藤原 治, 酒井哲弥, 荒谷 忠, 田村 亨, 鎌滝孝信 (2001): 千葉県九十九里浜平野の完新統の発達過程, 第四紀研究, 40, pp.223-233 .
- 86) 松井裕哉, 大西有三, 大津宏康, 西山 哲, 矢野隆夫 (2002): 地下空洞の変位計測へのデジタル画像計測法の応用, 第 11 回岩の力学国内シンポジウム講演論文集 CD-ROM, H05 .

- 87) 松崎達二, 梅田浩司, 石丸恒存, 湯佐泰久, 檀原 徹 (2001): 岩石の年代測定による基盤上昇速度推定の試み, 日本応用地質学会平成 13 年度研究発表会講演論文集, pp.203-206 .
- 88) McCrank,G.F., Amano,K., Koide,K., Matsui,H., Mikake,S., Nakano,K., Ota,K., Saegusa,H., Sugihara,K., Takeda,S. and Takeuchi,S. (2001): Mizunami Underground Research Laboratory in Japan - Pre-excavation site characterization and influence on design concepts. Proc. 8th International Conference on Radioactive Waste Management and Environmental Remediation (ICEM'01), Brugge, Belgium, September 30-October 3, 2001, CD-ROM, American Society of Mechanical Engineers.
- 89) McCrank,G.F., Amano,K., Nakano,K., Takeuchi,S., Hama,K., Osawa,H. and Sugihara,K. (2001): The Mizunami Underground Research Laboratory: Geotechnical and science challenges , 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨 , p.304 .
- 90) McCrank,G.F.D., Sugihara,K., Ota,K., Mikake,S., Amano,T., Koide,K. and Takeda,S. (2001 ): The MIU Research Laboratory, Japan - Geoscience activities during construction and operation. Proc. 9th International High-level Radioactive Waste Management Conference (IHLRWM), Las Vegas, USA, April 29-May 3, 2001, CD-ROM, American Nuclear Society.
- 91) McKenna,S.A., Eliassi,M., Inaba,K. and Saegusa,H. (2001 ): Evaluation of uncertainties due to hydrogeological modeling and groundwater flow analysis (Part5) – Groundwater flow modeling focused on complexity in the interpreted fault network using POR-SALSA , 地盤工学会「亀裂性岩盤における浸透問題に関するシンポジウム」発表論文集 , pp.289-298 .
- 92) Metcalfe,R. (2001 ): Geochemical approaches to evaluate groundwater flow system stability: Implications of research at Sellafield, UK and Äspö, Sweden , 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集 , A0-005 .
- 93) Metcalfe,R. (2001 ): Some implications for site characterisation to Horonobe from experience at Sellafield, U.K. and Äspö, Sweden: Constraining groundwater flow models using hydrogeochemistry , 日本原子力学会 2001 年秋の大会予稿集 , p.総 8 .
- 94) Metcalfe,R., Amano,K., Hama,K., Iwatsuki,T., Saegusa,H., Arthur,R.C. and Pearson,F.J. (2001 ): Groundwater geochemistry in the Toki granite - New approaches for understanding a groundwater flow system using groundwater geochemistry (a case study of the Toki granite) , 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨 , p.174 .
- 95) Metcalfe,R., Kunimaru,T., Hama,K., Amano,K. and Iwatsuki,T. (2001 ): Water-rock interaction around the fault: Implications for waste disposal. Proc. 10th International Symposium on Water-Rock Interaction (WRI-10), Villasimus, Italy, 10-15 July 2001, vol.2, pp.1343-1346, A.A.Balkema, The Netherlands .
- 96) 水野 崇 (2001 ): DH-12 号試錐掘削ならびに調査研究結果速報 , サイクル機構技術資料 , JNC TN7400 2001-009 .
- 97) 水野 崇 (2001 ): DH-13 号試錐掘削ならびに調査研究結果速報 , サイクル機構技術資料 , JNC TN7400 2001-010 .

- 98) 水野 崇,熊崎直樹,前田勝彦,中野勝志,グレン・マックランク,天野健治(2001): 透水性割れ目を同定・分類する地質学的手法の開発 - [その4: 構造地質学的手法を用いた試み], 日本地質学会第108年学術大会講演要旨, p.173.
- 99) 水田義明(2002): 3次元応力場の同定手法に関する研究, サイクル機構技術資料(研究委託報告書; 社団法人資源・素材学会), JNC TJ7400 2001-012.
- 100) Möri, A., Geckeis, H., Missana, T., Guimera, J., Degeldre, C., Meyer, P., Ota, K., Papenguth, H., Alexander, W.R. and Hernan, P. (2001): The Colloid and Radionuclide Retardation Experiment (CRR) at the Grimsel Test Site - First evidences for the colloid-mediated radionuclide transport in a granitic fracture. Abst. 8th International Conference on Chemistry and Migration Behaviour of Actinides and Fission Products in the Geosphere (Migration '01) Bregenz, Austria, 16-21 September 2001, p.117.
- 101) 森田 豊, 渡辺邦夫(2001): 水理地質構造モデル化概念の違いによる深部地下水流動への影響評価(その4) - 大断層の地下水流動と物質移動に与える影響に着目したフラクチャー・ネットワーク解析, 地盤工学会「亀裂性岩盤における浸透問題に関するシンポジウム」発表論文集, pp.279-288.
- 102) 向山 栄, 猪股隆行, 榎田祐子, 梅田浩司(2002): 第四紀火山地形解析, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.63-66.
- 103) 中島崇裕, 國友孝洋, 熊澤峰夫, 横山由紀子, 茂田直孝(2001): 東濃電磁アクロスシステムを用いた連続送信実験, 地球惑星科学関連学会2001年合同大会予稿集, Eq-P011.
- 104) 中野勝志, 大澤英昭(2001): 超深地層研究所計画における地表からの調査予測研究段階の現状, サイクル機構技報, No.12(2001.9), pp.91-106.
- 105) 中尾征三, 湯浅真人, 倉本真一, 長谷川功, 中司 昇, 高木俊男, 長谷川正, 畑山一人(2002): 日本周辺海底地質図および音波探査プロフィールデータベース, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, pp.49-50.
- 106) 中田 高(2002): 日本の活断層: 「活断層詳細 GIS マップからわかること」, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.13-15.
- 107) 中田智浩, 徳永朋祥, 浅井和見, 三枝博光(2001): 沿岸海底からの淡水性湧水の採水 - 黒部川扇状地沖合での例, 月刊地球, 23, pp.857-862.
- 108) 中田智浩, 徳永朋祥, 浅井和見, 渡辺正晴, 茂木勝郎, 三枝博光(2001): 海底からの淡水性湧水分布のマッピング - 黒部川扇状地沖合での検討, 日本応用地質学会平成13年度研究発表会講演論文集, pp.343-346.
- 109) 中山芳樹, 竹友将典(2002): AI孔を用いた水位観測調査業務(AI孔水位計設置(その2)), サイクル機構技術資料(契約業務報告書; 株式会社日本パブリック), JNC TJ7440 2001-034.
- 110) 西垣 誠, 南部卓也, 竹内竜史, 竹内真司(2001): クロスホール試験の解析法の開発に関する研究, サイクル機構技術資料, JNC TY7400 2001-002.

- 111) 野原 壯, 田中秀実, 渡辺邦夫, 古川 昇, 高見 明 (2001): 茂住祐延断層帯周辺岩盤の水理地質学的特徴, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, Sm-007 .
- 112) 大久保誠介 (2002): 長期岩盤挙動評価のための巨視的観点による基礎的研究, サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 東京大学), JNC TJ7400 2001-010 .
- 113) 奥野孝晴, 池田和隆, 中山文也, 石丸恒存 (2002): 活断層における空中物理探査, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.37-38 .
- 114) Onishi, C.T. and Shimizu, I. (2001): Characterization of pore structure of crystalline rock affected by a reverse fault using laser scanning confocal microscope technique, Tono area, Japan. Abst. Deformation Mechanisms, Rheology and Tectonics, Noordwijkerhout, Netherlands, 2-4 April 2001, p.125.
- 115) 大西セリア智恵美, 清水以知子, 上原真一, 溝口一生, 嶋本利彦 (2001): 断層近傍の花崗岩の間隙構造と浸透率: 予察, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, A9-P002 .
- 116) 大澤英昭, 中野勝志, 太田久仁雄 (2001): 超深地層研究所計画における地表からの調査研究成果の統合化, 日本原子力学会 2001 年秋の大会予稿集, p.918 .
- 117) 大澤英昭, 佐藤 努, 古屋和夫, 児玉敏雄, 酒井隆太郎 (2002): 断層活動に伴う周辺地下水流動系の変化に関する数値解析的検討 - 野島断層周辺の二次元浸透流解析 - , わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.47-48 .
- 118) 太田久仁雄, Alexander, W.R. (2001): 結晶質岩を対象とした放射性核種の移行・遅延モデルの構築と妥当性評価 - Nagra/JNC 原位置試験研究の概要, サイクル機構技報, No.11(2001.6), pp.119-128 .
- 119) Ota, K., Alexander, W.R., Smith, P.A., Möri, A., Frieg, B., Frick, U., Umeki, H., Amano, K., Cowper, M.M. and Berry, J.A. (2001): Building confidence in radionuclide transport models for fractured rock: The Nagra/JNC Radionuclide Retardation Programme. Sci. Basis Nucl. Waste Manag. XXIV, pp.1033-1041.
- 120) Ota, K., Möri, A., Schild, M. and Alexander, W.R. (2001): Influence of the mode of matrix porosity determination on matrix calculations. Abst. 8th International Conference on Chemistry and Migration Behaviour of Actinides and Fission Products in the Geosphere (Migration'01), Bregenz, Austria, 16-21 September 2001, p.87 .
- 121) 三枝博光, 前田勝彦, 稲葉 薫 (2001): 水理地質構造モデル化概念の違いによる深部地下水流動への影響評価 (その 6) - 不連続構造の水理特性及び水理学的境界条件に着目した水理地質構造のモデル化及び地下水流動解析, 地盤工学会「亀裂性岩盤における浸透問題に関するシンポジウム」発表論文集, pp.299-308 .
- 122) 坂井哲郎, 柿田 毅, 鈴木 一 (2001): 微風速条件下における東濃鉾山の熱環境解析, 資源素材学会 2001 年春季大会講演集(I)資源編, pp.95-96 .
- 123) 榊 利博, Rajaram, H., 松井裕哉, 長沼 毅 (2002): 亀裂性堆積岩の不飽和領域における水分移動, 月刊地球号外, 36, pp.68-73 .

- 124) 酒見 泰, 高橋嘉夫, 濱 克宏, 天野健治, 清水 洋 (2001): 地下深部の花崗岩の水 - 岩石反応に伴う希土類元素の挙動, 日本地球化学会 2001 年会, p.11 .
- 125) 三箇智二, 藤原 治, 大森博雄 (2002): 日本列島における侵食速度の分布, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.111-115 .
- 126) 笹田政克, 矢野雄策 (2002): 地下の温度構造: 「日本列島地温勾配図」, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.10-12 .
- 127) 笹尾英嗣, 宮田初穂 (2001): 第 14 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会, サイクル機構技報, No.12(2001.9), pp.149-150 .
- 128) 澤田 淳, 三枝博光, 竹内真司, 中野勝志, 井尻裕二 (2001): 水理地質構造モデル化概念の違いによる深部地下水流動への影響評価 (その 1) - 複数の概念モデル化手法による不確実性の検討 - , 地盤工学会「亀裂性岩盤における浸透問題に関するシンポジウム」発表論文集, pp.249-258 .
- 129) 榎木義一 (2002): 深部地質環境の調査・解析技術の体系化に関する研究 (その 2), サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 社団法人システム総合研究所), JNC TJ7400 2001-011 .
- 130) 瀬戸政宏, 相馬宜和, 前田信行, 松井裕哉, Villaescusa, E., 勝山邦久 (2001): AE 法と DRA による地下応力測定試験方法とケーススタディ, 資源と素材, 117, pp.829-835 .
- 131) 嶋田 純, 高倉 望, 濱 克宏, 小島圭二, 山川 稔 (2001): 地下水中の環境同位体から見た再冠水時の地下水挙動, 日本地下水学会 2001 年秋季講演会要旨集, p.20 .
- 132) 清水以知子, 大西セリア智恵美, 溝口一生, 上原真一, 嶋本利彦 (2001): 断層近傍の花崗岩の浸透率と間隙構造, 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.91 .
- 133) Shimo, M., Nishijima, N. and Fumimura, K. (2001): Evaluation of uncertainty due to hydrogeological modeling and groundwater flow analysis (3) - Taisei Equivalent Heterogeneous Continuum Model using EQUIV\_FLO, 地盤工学会「亀裂性岩盤における浸透問題に関するシンポジウム」発表論文集, pp.269-278 .
- 134) 下山昌宏 (2001): 平成 13 年度明世地区表層水理研究測量調査, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 応用地質株式会社), JNC TJ7440 2001-030 .
- 135) 進士喜英, 狩野裕之, 竹内真司, 竹内竜史 (2001): 井戸貯留の影響下での回復試験の実施と解析方法に関する一考察 - 揚水 / 回復過程で井戸貯留を変更する場合, 第 36 回地盤工学研究発表会, pp.1243-1244 .
- 136) Stenhouse, M.J., Arthur, R.C., Iwatsuki, T., Ota, K. and Takase, H. (2001): Application of systems analysis to a natural analogue project. Abst. 2001 MRS Fall Meeting, Boston, Massachusetts, November 26-30, 2001, p.688.
- 137) 鈴木毅彦, Eden, D., 檀原 徹, 藤原 治 (2001): 東北日本弧の大規模火砕流にともなう中期更新世広域テフラ - 八甲田国本テフラ, 日本第四紀学会 2001 年大会講演要旨集, pp.8-9 .

- 138) 鈴木毅彦, Eden, D., 檀原 徹, 藤原 治 (2001): 東北日本の大規模火砕流は広域テフラを生産したか?, 月刊地球, 23, pp.610-613.
- 139) 平 朝彦 (2002): 地球システム変動の理解と予測, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.1-3.
- 140) 高木俊男, 柳田 誠, 小澤昭男, 藤原 治 (2002): 河岸段丘から推定した河床高度変化の歴史, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.82-85.
- 141) 高木俊男, 藤原 治, 佐々木勝司, 川崎輝祐 (2002): 沈降量分布図, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.102-107.
- 142) 武田精悦 (2002): 地質環境の長期安定性に関する将来予測研究の課題, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.31-35.
- 143) 棚瀬充史, 水落幸弘, 小松 亮, 梅田浩司 (2002): 貫入岩体が地質環境へ与える熱的, 力学的影響の調査 - 成果と今後の課題 -, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.73-76.
- 144) 谷本大輔, 長沼 毅, 村上由記, 渡辺史子, 天野健治, 岩月輝希, 濱 克宏 (2001): 脂質分析による東濃地域の深部地下微生物相の推定, 第 18 回しんかいシンポジウム予稿集, pp.194-195.
- 145) 徳永朋祥, 浅井和見, 中田智浩, 谷口真人, 嶋田 純, 三枝博光 (2001): 沿岸海底下での地下水採取技術の開発とその適用 - 黒部川扇状地沖合での例, 地下水学会誌, 43, pp.279-287.
- 146) 徳山英一, 海域地質構造マップ WG<sup>4</sup> (2002): 日本列島の生い立ち: 「日本列島周辺海域の構造発達史」, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.16-21.
- 147) 徳山英一, 本座栄一, 木村政昭, 倉木真一, 芦寿一郎, 岡村行信, 荒戸裕之, 伊藤康人, 徐 垣, 日野亮太, 野原 壯, 阿部寛信, 坂井真一, 向山建二郎 (2001): 日本周辺海域中新世最末期以降の構造発達史, 海洋調査技術, 13, pp.27-53.
- 148) 鳥井原誠, 丸山 誠, 畑 浩二, 鈴木健一郎 (2002): 応力集中による破壊現象のモデル化に関する研究 (その 1), サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 株式会社大林組), JNC TJ7400 2001-013.
- 149) 鶴我佳代子, 國友孝洋, 茂田直孝, 羽佐田葉子, 熊澤峰夫, 山岡耕春 (2001): 可搬型アクロス震源による地下構造探査手法の開発 ~ 第一報, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, Su-P003.
- 150) West, J.M., Hama, K., Bateman, K., Coombs, P., Hards, V., Milodowski, A.E., Wetton, P. and Yoshida, H. (2000): Laboratory examination of microbial perturbations in a granitic environment. Sci. Basis Nucl. Waste Manag. XXIV, pp.657-664.

- 151) 徐 勝, 星住英夫, 落合洋治, 青木治三, 宇都浩三 (2001): 新期雲仙火山の加速器放射性炭素年代, 第 48 回日本地球化学会年会講演要旨集, pp.150 .
- 152) 徐 勝, 星住英夫, 落合洋治, 青木治三, 宇都浩三 (2001): 雲仙火山科学掘削コア試料の AMS14C 年代, 第 14 回タンデム加速器およびその周辺技術の研究会報告書, サイクル機構技術資料, JNC TN7200 2001-001, pp.130-134 .
- 153) 山田裕司, 福津久美子, 床次眞司, 一坪宏和, 花木達美 (2001): GSA 法によるラドン子孫核種の粒径分布測定, 日本原子力学会 2001 秋の大会予稿集, p.6 .
- 154) 山口正秋, 須貝俊彦, 大森博夫, 藤原 治, 鎌滝孝信, 杉山雄一 (2002): 濃尾平野における完新統の堆積速度とその時間変化, 日本地理学会発表要旨集, 61, p.136 .
- 155) 山口正秋, 須貝俊彦, 太田 剛, 大森博雄, 杉山雄一, 藤原 治 (2001): ボーリング・コアの総合解析にもとづく濃尾平野の堆積環境の推定, 日本地理学会 2001 年度秋季学術大会講演要旨集, p.90 .
- 156) 山口卓哉, 小嶋 智, 矢入憲二, 中居 優, 中野勝志 (2001): 美濃帯メランジュの頁岩基質の透水性 - ボーリングコアを用いた室内透水試験, 日本応用地質学会中部支部平成 13 年度支部研究発表会予稿集, pp.1-4 .
- 157) 山本卓也 (2002): 双設坑道安定性評価試験のための新規坑道掘削による掘削影響予測解析, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 大成建設株式会社), JNC TJ7400 2001-015 .
- 158) 柳田 誠, 藤原 治, 佐々木俊法, 三筒智二 (2001): 日本の地滑り地形分布図 - 地形・地質との関連, 日本応用地質学会中部支部平成 13 年度支部研究発表会講演要旨集, pp.11-14 .
- 159) 柳田 誠, 佐々木俊法, 藤原 治 (2001): 起伏量と谷密度による山地と丘陵との区分, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, Qm-P009 .
- 160) 米田茂夫, 伊勢明広, 藤原 治, 松末和之 (2002): 日本列島周辺における第四紀後期の気候および海水準の変遷, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.92-94 .
- 161) 湯佐泰久 (2001): 自然から学ぶ放射性廃棄物処分の智慧 - 地質学の役割, 日本地質学会発行「明日を拓く地質学 - 現場に応える地質学へ」, pp.82-112 .
- 162) 周 啓友, 松井裕哉, 嶋田 純, 佐藤 朗 (2001): 地面配置電極による地下水水位変動を検知する比抵抗映像法の有効性, 日本水文学会学術大会発表要旨集 15, pp.18-21 .
- 163) Zhou, Q.Y., Matsui, H. and Shimada, J. (2002): Characterization of unsaturated zone near around cavity in fractured rocks by using electrical resistivity tomography. Proc. Bridging the Gap between Measurement and Modeling in Heterogeneous Media, Berkeley, California, March 25-28, 2002, pp.179-183.
- 164) Zhou, Q.Y., Matsui, H., Shimada, J. and Sato, A. (2002): Applications of electrical resistivity tomography in mapping rock dispersivity and monitoring water flow in heterogeneous media. Proc. Bridging the Gap between Measurement and Modeling in Heterogeneous Media, Berkeley, California, March 25-28, 2002, pp.173-178.



<sup>1</sup>200 万分の 1 活断層図編纂ワーキンググループ：中田 高，東郷正美，今泉俊文，渡辺満久，堤 浩之，千田 昇，奥村晃史，宮内崇裕，鈴木康弘，岡田篤正，松田時彦，隈元 崇，野原 壯，郡谷順英，佐々木達哉，三輪敦志，高橋奈緒。

<sup>2</sup>第四紀火山カタログ委員会：宇井忠英，荒牧重雄，河内晋平，小林哲夫，小山真人，佐藤博明，高橋正樹，千葉達朗，津久井雅志，林信太郎，梅田浩司，湯佐泰久。

<sup>3</sup>段丘アトラスワーキンググループ：小池一之，町田 洋，山崎晴雄，鈴木毅彦，貝塚爽平，米倉伸之，長岡信治，前杵英明，八木浩司，渡辺満久，宮内崇裕，藤原 治。

<sup>4</sup>海域地質構造マップワーキンググループ：徳山英一，芦寿一郎，荒戸裕之，伊藤康人，岡村行信，木村政昭，倉本真一，徐 垣，日野亮太，本座栄一，安間 恵，半場康弘，向山建二郎，野原 壯，郡谷順英。

1. 広域地下水流動研究

(1) 広域地下水流動研究全般

- 46) 核燃料サイクル開発機構(2001): 広域地下水流動研究年度計画書(平成11年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-001.
- 47) 核燃料サイクル開発機構(2001): 広域地下水流動研究年度計画書(平成12年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-002.
- 52) 核燃料サイクル開発機構(2001): 広域地下水流動研究年度報告書(平成11年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-008.
- 56) 核燃料サイクル開発機構(2001): 広域地下水流動研究年度計画書(平成13年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-012.
- 59) 核燃料サイクル開発機構(2001): 広域地下水流動研究年度報告書(平成12年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-017.
- 70) 小出 馨, 前田勝彦(2001): 東濃地域を対象とした広域地下水流動研究の現状(その2), サイクル機構技報, No.12(2001.9), pp.107-122.
- 96) 水野 崇(2001): DH-12号試錐掘削ならびに調査研究結果速報, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2001-009.
- 97) 水野 崇(2001): DH-13号試錐掘削ならびに調査研究結果速報, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2001-010.

(2) 岩盤の水理に関する調査研究

- 121) 三枝博光, 前田勝彦, 稲葉 薫(2001): 水理地質構造モデル化概念の違いによる深部地下水流動への影響評価(その6) - 不連続構造の水理特性及び水理学的境界条件に着目した水理地質構造のモデル化及び地下水流動解析, 地盤工学会「亀裂性岩盤における浸透問題に関するシンポジウム」発表論文集, pp.299-308.
- 134) 下山昌宏(2001): 平成13年度明世地区表層水理研究測量調査, サイクル機構技術資料(契約業務報告書; 応用地質株式会社), JNC TJ7440 2001-030.
- 135) 進士喜英, 狩野裕之, 竹内真司, 竹内竜史(2001): 井戸貯留の影響下での回復試験の実施と解析方法に関する一考察 - 揚水/回復過程で井戸貯留を変更する場合, 第36回地盤工学研究発表会, pp.1243-1244.

(3) 地下水の地球化学に関する調査研究

- 35) Iwatsuki, T., Metcalfe, R., Amano, K., Hama, K., Arthur, R.C. and Sasamoto, H. (2001): Data book on groundwater chemistry in the Tono area. JNC Tech. Rep., JNC TN7450 2001-003.

- 37) 岩月輝希, 佐竹 洋, 吉田英一, 濱 克宏 (2001): 方解石の結晶形・同位体に基づく地下深部の古水理地球化学的研究, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, A0-P003 .
- 39) Iwatsuki, T., Xu, S., Mizutani, Y., Hama, K., Saegusa, H. and Nakano, K. (2001): Carbon-14 study of groundwater in the sedimentary rocks at the Tono study site, central Japan. Appl. Geochem., 16, pp.849-859.
- 94) Metcalfe, R., Amano, K., Hama, K., Iwatsuki, T., Saegusa, H., Arthur, R.C. and Pearson, F.J. (2001): Groundwater geochemistry in the Toki granite - New approaches for understanding a groundwater flow system using groundwater geochemistry (a case study of the Toki granite), 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.174 .
- 124) 酒見 泰, 高橋嘉夫, 濱 克宏, 天野健治, 清水 洋 (2001): 地下深部の花崗岩の水 - 岩石反応に伴う希土類元素の挙動, 日本地球化学会 2001 年会, p.11 .

#### (4) 岩盤力学に関する調査研究

- 24) 畑 浩二, 丸山 誠, 鳥井原誠 (2002): 土岐花崗岩体の力学物性評価のための室内試験, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 株式会社大林組), JNC TJ7400 2001-016 .

## 2 . 超深地層研究所計画

### (1) 超深地層研究所計画全般

- 43) 核燃料サイクル開発機構 (2001): 超深地層研究所計画の現状 - 平成 8 年度 ~ 平成 11 年度, サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2001-001 .
- 45) 核燃料サイクル開発機構 (2001): 超深地層研究所計画年度報告書 (平成 12 年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2001-011 .
- 48) 核燃料サイクル開発機構 (2001): 超深地層研究所計画年度報告書 (平成 11 年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-003 .
- 49) 核燃料サイクル開発機構 (2001): 超深地層研究所計画年度計画書 (平成 11 年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-004 .
- 53) 核燃料サイクル開発機構 (2001): 超深地層研究所地層科学研究基本計画, サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-009 .
- 57) 核燃料サイクル開発機構 (2001): 超深地層研究所計画年度計画書 (平成 13 年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-013 .
- 60) 核燃料サイクル開発機構 (2002): 超深地層研究所地層科学研究基本計画, サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-018 .
- 61) 核燃料サイクル開発機構 (2002): 超深地層研究所計画年度計画書 (平成 13 年度改定版), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-019 .

- 88) McCrank, G.F., Amano, K., Koide, K., Matsui, H., Mikake, S., Nakano, K., Ota, K., Saegusa, H., Sugihara, K., Takeda, S. and Takeuchi, S. (2001): Mizunami Underground Research Laboratory in Japan - Pre-excavation site characterization and influence on design concepts. Proc. 8th International Conference on Radioactive Waste Management and Environmental Remediation (ICEM'01), Brugge, Belgium, September 30-October 3, 2001, CD-ROM, American Society of Mechanical Engineers.
- 89) McCrank, G.F., Amano, K., Nakano, K., Takeuchi, S., Hama, K., Osawa, H. and Sugihara, K. (2001): The Mizunami Underground Research Laboratory: Geotechnical and science challenges, 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.304.
- 90) McCrank, G.F.D., Sugihara, K., Ota, K., Mikake, S., Amano, T., Koide, K. and Takeda, S. (2001): The MIU Research Laboratory, Japan - Geoscience activities during construction and operation. Proc. 9th International High-level Radioactive Waste Management Conference (IHLRWM), Las Vegas, USA, April 29-May 3, 2001, CD-ROM, American Nuclear Society.
- 104) 中野勝志, 大澤英昭 (2001): 超深地層研究所計画における地表からの調査予測研究段階の現状, サイクル機構技報, No.12(2001.9), pp.91-106.
- 116) 大澤英昭, 中野勝志, 太田久仁雄 (2001): 超深地層研究所計画における地表からの調査研究成果の統合化, 日本原子力学会 2001 年秋の大会予稿集, p.918.

## (2) 地質・地質構造に関する調査研究

- 2) 天野健治, 前田勝彦, 熊崎直樹, 水野 崇, 三枝博光, 竹内真司, 濱 克宏, 中野勝志, グレン・マックランク, リチャード・メトカーフ (2001): 透水性割れ目を同定・分類する地質学的手法の開発 - [ その 1: 土岐花崗岩体を例とした研究開発の現状と課題 ], 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.172.
- 75) 熊崎直樹, 水野 崇, 前田勝彦, 竹内真司, 中野勝志, グレン・マックランク, 天野健治 (2001): 透水性割れ目を同定・分類する地質学的手法の開発 - [ その 3: 地球物理学的手法 (物理検層) を用いた試み ], 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.173.
- 80) 前田勝彦, 熊崎直樹, 水野 崇, 濱 克宏, 中野勝志, リチャード・メトカーフ, 天野健治 (2001): 透水性割れ目を同定・分類する地質学的手法の開発 - [ その 2: 鉱物学的・地球化学手法を用いた試み ], 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.172.
- 98) 水野 崇, 熊崎直樹, 前田勝彦, 中野勝志, グレン・マックランク, 天野健治 (2001): 透水性割れ目を同定・分類する地質学的手法の開発 - [ その 4: 構造地質学的手法を用いた試み ], 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.173.
- 114) Onishi, C.T. and Shimizu, I. (2001): Characterization of pore structure of crystalline rock affected by a reverse fault using laser scanning confocal microscope technique, Tono area, Japan. Abst. Deformation Mechanisms, Rheology and Tectonics, Noordwijkerhout, Netherlands, 2-4 April 2001, p.125.
- 115) 大西セリア智恵美, 清水以知子, 上原真一, 溝口一生, 嶋本利彦 (2001): 断層近傍の花崗岩の間隙構造と浸透率: 予察, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, A9-P002.

132) 清水以知子, 大西セリア智恵美, 溝口一生, 上原真一, 嶋本利彦 (2001): 断層近傍の花崗岩の浸透率と間隙構造, 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.91 .

### (3) 岩盤の水理に関する調査研究

11) Doughty,C. and Karasaki,K. ( 2001 ): Evaluation of uncertainties due to hydrogeological modeling and groundwater flow analysis (2) - LBNL effective continuum model using TOUGH2, 地盤工学会「亀裂性岩盤における浸透問題に関するシンポジウム」発表論文集, pp.259-268 .

26) 細田 宏, 下山昌宏, 永野修一, 竹村聖吾 (2002): MIU-2 号孔における地下水水圧・水質観測装置の引上げ作業, サイクル機構技術資料 ( 契約業務報告書; 応用地質株式会社 ), JNC TJ7440 2001-035 .

66) 神谷俊治, 狩野公明, 供田 高 (2001): 平成 13 年度正馬川モデル流域河川流量計の拡充, サイクル機構技術資料 ( 契約業務報告書; 株式会社三弘 ), JNC TJ7440 2001-031 .

91) McKenna,S.A., Eliassi,M., Inaba,K. and Saegusa,H. ( 2001 ): Evaluation of uncertainties due to hydrogeological modeling and groundwater flow analysis (Part5) – Groundwater flow modeling focused on complexity in the interpreted fault network using POR-SALSA, 地盤工学会「亀裂性岩盤における浸透問題に関するシンポジウム」発表論文集, pp.289-298 .

101) 森田 豊, 渡辺邦夫 (2001): 水理地質構造モデル化概念の違いによる深部地下水流動への影響評価 ( その 4 ) - 大断層の地下水流動と物質移動に与える影響に着目したフラクチャー・ネットワーク解析, 地盤工学会「亀裂性岩盤における浸透問題に関するシンポジウム」発表論文集, pp.279-288 .

109) 中山芳樹, 竹友将典 (2002): AI 孔を用いた水位観測調査業務 ( AI 孔水位計設置 ( その 2 ) ), サイクル機構技術資料 ( 契約業務報告書; 株式会社日本パブリック ), JNC TJ7440 2001-034 .

121) 三枝博光, 前田勝彦, 稲葉 薫 (2001): 水理地質構造モデル化概念の違いによる深部地下水流動への影響評価 ( その 6 ) - 不連続構造の水理特性及び水理学的境界条件に着目した水理地質構造のモデル化及び地下水流動解析, 地盤工学会「亀裂性岩盤における浸透問題に関するシンポジウム」発表論文集, pp.299-308 .

128) 澤田 淳, 三枝博光, 竹内真司, 中野勝志, 井尻裕二 (2001): 水理地質構造モデル化概念の違いによる深部地下水流動への影響評価 ( その 1 ) - 複数の概念モデル化手法による不確実性の検討 - , 地盤工学会「亀裂性岩盤における浸透問題に関するシンポジウム」発表論文集, pp.249-258 .

133) Shimo,M., Nishijima,N. and Fumimura,K. ( 2001 ): Evaluation of uncertainty due to hydrogeological modeling and groundwater flow analysis (3) - Taisei Equivalent Heterogeneous Continuum Model using EQUIV\_FLO, 地盤工学会「亀裂性岩盤における浸透問題に関するシンポジウム」発表論文集, pp.269-278 .

#### (4) 地下水の地球化学に関する調査研究

- 13) 藤田夕佳, 村上由記, 長沼 毅, 岩月輝希, 濱 克宏 (2001): 東濃地域における地下水微生物相の分子系統学的解析, 第 18 回しんかいシンポジウム予稿集, p.196 .
- 18) Hama,K., Bateman,K., Coombs,P., Hards,V.L., Milodowski,A.E., West,J.M., Wetton,P.D., Yoshida,H. and Aoki,K. (2001): Influence of bacteria on rock-water interaction, and clay mineral formation in subsurface granitic environments. Clay Min., 36, pp.599-613.
- 36) 岩月輝希, 村上由記, 長沼 毅 (2001): 深部地下環境における微生物によるコロイド生成, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, A6-P003 .
- 37) 岩月輝希, 佐竹 洋, 吉田英一, 濱 克宏 (2001): 方解石の結晶形・同位体に基づく地下深部の古水理地球化学的研究, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, A0-P003 .
- 39) Iwatsuki,T., Xu,S., Mizutani,Y., Hama,K., Saegusa,H. and Nakano,K. (2001): Carbon-14 study of groundwater in the sedimentary rocks at the Tono study site, central Japan. Appl. Geochem., 16, pp.849-859.
- 94) Metcalfe,R., Amano,K., Hama,K., Iwatsuki,T., Saegusa,H., Arthur,R.C. and Pearson,F.J. (2001): Groundwater geochemistry in the Toki granite - New approaches for understanding a groundwater flow system using groundwater geochemistry (a case study of the Toki granite), 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.174 .
- 95) Metcalfe,R., Kunimaru,T., Hama,K., Amano,K. and Iwatsuki,T. (2001): Water-rock interaction around the fault: Implications for waste disposal. Proc. 10th International Symposium on Water-Rock Interaction (WRI-10), Villasimus, Italy, 10-15 July 2001, vol.2, pp.1343-1346, A.A.Balkema, The Netherlands .
- 124) 酒見 泰, 高橋嘉夫, 濱 克宏, 天野健治, 清水 洋 (2001): 地下深部の花崗岩の水 - 岩石反応に伴う希土類元素の挙動, 日本地球化学会 2001 年会, p.11 .
- 144) 谷本大輔, 長沼 毅, 村上由記, 渡辺史子, 天野健治, 岩月輝希, 濱 克宏 (2001): 脂質分析による東濃地域の深部地下微生物相の推定, 第 18 回しんかいシンポジウム予稿集, pp.194-195 .

### 3 . 東濃鉱山における調査試験研究

#### (1) 東濃鉱山における調査試験研究全般

- 44) 核燃料サイクル開発機構 (2001): 東濃鉱山における調査試験研究年度報告書 (2000 年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7400 2001-007 .
- 50) 核燃料サイクル開発機構 (2001): 東濃鉱山における調査試験研究年度計画書 (平成 11 年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-005 .

- 51) 核燃料サイクル開発機構 (2001): 東濃鉱山における調査試験研究年度報告書 (平成11年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-006.
- 54) 核燃料サイクル開発機構 (2001): 東濃鉱山における調査試験研究年度計画書 (2001年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-010.

## (2) ナチュラルアナログ研究

- 34) 岩月輝希, 濱 克宏 (2001): 東濃ウラン鉱床を対象としたナチュラルアナログ研究: 地下水・鉱物データに基づく酸化還元フロントの解析, 日本原子力学会 2001 年秋の大会 予稿集, p.933.
- 136) Stenhouse, M.J., Arthur, R.C., Iwatsuki, T., Ota, K. and Takase, H. (2001): Application of systems analysis to a natural analogue project. Abst. 2001 MRS Fall Meeting, Boston, Massachusetts, November 26-30, 2001, p.688.

## (3) 岩盤の力学的安定性に関する試験研究

- 28) 市川康明 (2002): 長期岩盤挙動評価のための微視的観点による基礎的研究, サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 名古屋大学), JNC TJ7400 2001-017.
- 86) 松井裕哉, 大西有三, 大津宏康, 西山 哲, 矢野隆夫 (2002): 地下空洞の変位計測へのデジタル画像計測法の応用, 第 11 回岩の力学国内シンポジウム講演論文集 CD-ROM, H05.
- 99) 水田義明 (2002): 3次元応力場の同定手法に関する研究, サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 社団法人資源・素材学会), JNC TJ7400 2001-012.
- 112) 大久保誠介 (2002): 長期岩盤挙動評価のための巨視的観点による基礎的研究, サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 東京大学), JNC TJ7400 2001-010.
- 130) 瀬戸政宏, 相馬宜和, 前田信行, 松井裕哉, Villaescusa, E., 勝山邦久 (2001): AE 法と DRA による地下応力測定試験方法とケーススタディ, 資源と素材, 117, pp.829-835.
- 148) 鳥井原誠, 丸山 誠, 畑 浩二, 鈴木健一郎 (2002): 応力集中による破壊現象のモデル化に関する研究 (その 1), サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 株式会社大林組), JNC TJ7400 2001-013.
- 157) 山本卓也 (2002): 双設坑道安定性評価試験のための新規坑道掘削による掘削影響予測解析, サイクル機構技術資料 (契約業務報告書; 大成建設株式会社), JNC TJ7400 2001-015.

## (4) 坑道周辺の地質環境に関する調査研究

- 3) Arthur, R.C., Iwatsuki, T., Hama, K., Amano, K., Metcalfe, R. and Ota, K. (2001): The redox environment of deep groundwaters associated with the Tono uranium deposit, Japan. Abst. 2001 MRS Fall Meeting, Boston, Massachusetts, November 26-30, 2001, p.687.

- 13) 藤田夕佳, 村上由記, 長沼 毅, 岩月輝希, 濱 克宏 (2001): 東濃地域における地下水微生物相の分子系統学的解析, 第 18 回しんかいシンポジウム予稿集, p.196 .
- 18) Hama,K., Bateman,K., Coombs,P., Hards,V.L., Milodowski,A.E., West,J.M., Wetton,P.D., Yoshida,H. and Aoki,K. (2001): Influence of bacteria on rock-water interaction, and clay mineral formation in subsurface granitic environments. *Clay Min.*, 36, pp.599-613.
- 27) 細野隆康, 前村庸之 (2002): 不飽和領域の原位置計測手法の研究 (平成 13 年度), サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 株式会社ダイヤコンサルタント), JNC TJ7400 2001-014 .
- 39) Iwatsuki,T., Xu,S., Mizutani,Y., Hama,K., Saegusa,H. and Nakano,K. (2001): Carbon-14 study of groundwater in the sedimentary rocks at the Tono study site, central Japan. *Appl. Geochem.*, 16, pp.849-859.
- 94) Metcalfe,R., Amano,K., Hama,K., Iwatsuki,T., Saegusa,H., Arthur,R.C. and Pearson,F.J. (2001): Groundwater geochemistry in the Toki granite - New approaches for understanding a groundwater flow system using groundwater geochemistry (a case study of the Toki granite), 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.174 .
- 110) 西垣 誠, 南部卓也, 竹内竜史, 竹内真司 (2001): クロスホール試験の解析法の開発に関する研究, サイクル機構技術資料, JNC TY7400 2001-002 .
- 114) Onishi,C.T. and Shimizu,I. (2001): Characterization of pore structure of crystalline rock affected by a reverse fault using laser scanning confocal microscope technique, Tono area, Japan. *Abst. Deformation Mechanisms, Rheology and Tectonics*, Noordwijkerhout, Netherlands, 2-4 April 2001, p.125.
- 115) 大西セリア智恵美, 清水以知子, 上原真一, 溝口一生, 嶋本利彦 (2001): 断層近傍の花崗岩の間隙構造と浸透率: 予察, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, A9-P002 .
- 123) 榊 利博, Rajaram,H., 松井裕哉, 長沼 毅 (2002): 亀裂性堆積岩の不飽和領域における水分移動, 月刊地球号外, 36, pp.68-73 .
- 131) 嶋田 純, 高倉 望, 濱 克宏, 小島圭二, 山川 稔 (2001): 地下水中の環境同位体から見た再冠水時の地下水挙動, 日本地下水学会 2001 年秋季講演会要旨集, p.20 .
- 132) 清水以知子, 大西セリア智恵美, 溝口一生, 上原真一, 嶋本利彦 (2001): 断層近傍の花崗岩の浸透率と間隙構造, 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.91 .
- 144) 谷本大輔, 長沼 毅, 村上由記, 渡辺史子, 天野健治, 岩月輝希, 濱 克宏 (2001): 脂質分析による東濃地域の深部地下微生物相の推定, 第 18 回しんかいシンポジウム予稿集, pp.194-195 .
- 150) West,J.M., Hama,K., Bateman,K., Coombs,P., Hards,V., Milodowski,A.E., Wetton,P. and Yoshida,H. (2000): Laboratory examination of microbial perturbations in a granitic environment. *Sci. Basis Nucl. Waste Manag.* XXIV, pp.657-664.
- 162) 周 啓友, 松井裕哉, 嶋田 純, 佐藤 朗 (2001): 地面配置電極による地下水水位変動を検知する比抵抗映像法の有効性, 日本水文学会学術大会発表要旨集 15 pp.18-21 .



163) Zhou, Q.Y., Matsui, H. and Shimada, J. (2002): Characterization of unsaturated zone near around cavity in fractured rocks by using electrical resistivity tomography. Proc. Bridging the Gap between Measurement and Modeling in Heterogeneous Media, Berkeley, California, March 25-28, 2002, pp.179-183.

164) Zhou, Q.Y., Matsui, H., Shimada, J. and Sato, A. (2002): Applications of electrical resistivity tomography in mapping rock dispersivity and monitoring water flow in heterogeneous media. Proc. Bridging the Gap between Measurement and Modeling in Heterogeneous Media, Berkeley, California, March 25-28, 2002, pp.173-178.

#### (5) 東濃鉱山の維持・管理

19) 花木達美, 鈴木 一, 小谷静夫 (2001): 東濃鉱山におけるモニタリングシステムについて, 資源と素材, 117, pp.351-353.

122) 坂井哲郎, 柿田 毅, 鈴木 一 (2001): 微風速条件下における東濃鉱山の熱環境解析, 資源素材学会 2001 年春季大会講演集(I)資源編, pp.95-96.

153) 山田裕司, 福津久美子, 床次眞司, 一坪宏和, 花木達美 (2001): GSA 法によるラドン子孫核種の粒径分布測定, 日本原子力学会 2001 秋の大会予稿集, p.6.

### 4 . 地質環境の長期安定性に関する研究

#### (1) 地質環境の長期安定性に関する研究全般

58) 核燃料サイクル開発機構 (2001): 地質環境の長期安定性に関する研究年度計画書 (平成 13 年度), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-014.

139) 平 朝彦 (2002): 地球システム変動の理解と予測, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.1-3.

142) 武田精悦 (2002): 地質環境の長期安定性に関する将来予測研究の課題, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.31-35.

#### (2) 隆起・侵食, 気候・海水準変動に関する研究

4) 朝倉利明, 東條文治, 鎌滝孝信 (2002): 下総層群地蔵堂層から産出した二枚貝化石の種組成・殻サイズ・成長速度の変化と相関について, 日本古生物学会第 151 回例会講演予稿集, p.53.

7) 段丘アトラスワーキンググループ (2002): 段丘アトラス, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.108-110.

- 8) 檀原 徹, 岩野英樹, 藤原 治 (2002): 第四紀テフラ資料の高精度年代測定 - その試料評価と測定精度, トラック長解析を中心として -, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.86-91 .
- 14) 藤原 治 (2001): 第四紀構造盆地の沈降量図, 小池一之・町田 洋編「日本の海成段丘アトラス」, 東京大学出版会, pp.95-106 .
- 15) 藤原 治 (2001): 高密度での  $^{14}\text{C}$  年代測定による完新世の地震イベント解析, 第 14 回タンデム加速器およびその周辺技術の研究会報告書, サイクル機構技術資料, JNC TN7200 2001-001, pp.158-161 .
- 16) 藤原 治, 鎌滝孝信 (2001): いわゆる“混合群集”を利用した地層からのイベント解読 - 南関東の完新統の津波堆積物を例として, 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.126 .
- 17) 藤原 治, 三箇智二, 大森博雄 (2001): 日本列島における侵食速度の分布 (CD-ROM 版), サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-015 .
- 20) 原口 強, 藤原 治, 高田圭太 (2002): 海岸移動調査のためのジオスライサー地層採取法, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.95-101 .
- 62) 鎌滝孝信, 藤原 治 (2001): 急速埋没イベントを示す貝類化石群: 千葉県館山市に分布する完新統の例, 日本第四紀学会 2001 年大会講演要旨集, pp.20-21 .
- 63) 鎌滝孝信, 藤原 治 (2001): 房総半島九十九里浜の完新統における前浜 - 外浜環境を示す貝化石群, 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.125 .
- 64) 鎌滝孝信, 藤原 治 (2001): 地層に高密度で放射性炭素年代値を入れる意義: 房総半島における研究例から, 第 14 回タンデム加速器およびその周辺技術の研究会報告書, サイクル機構技術資料, JNC TN7200 2001-001, pp.118-121 .
- 65) 鎌滝孝信, 藤原 治 (2002): 九十九里浜平野地下に分布する完新統の発達過程, 日本古生物学会第 151 回例会講演予稿集, p.52 .
- 68) 菊地直樹, 近藤康生, 鎌滝孝信 (2001): 天草下島牛深沖で漁網に引き上げられた絶滅種トウキョウホタテを含む貝類遺骸群(予報), 日本古生物学会 2001 年年会講演要旨集, p.189 .
- 74) 近藤康生, 鎌滝孝信 (2001): 房総第四系の二枚貝類を中心とする陸棚底生群集の再評価、特に貧化石層に含まれる低多様度の群集について, 第四紀研究, 40, pp.259-265 .
- 79) 町田 洋 (2002): 日本列島の海岸線: 「日本の段丘アトラス」, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.23-29 .
- 84) 増田富士雄, 藤原 治, 酒井哲弥, 荒谷 忠 (2001): 房総半島九十九里浜平野の海浜堆積物から求めた過去 6000 年間の相対的海水準変動と地震隆起, 地学雑誌, 110, pp.650-664 .
- 85) 増田富士雄, 藤原 治, 酒井哲弥, 荒谷 忠, 田村 亨, 鎌滝孝信 (2001): 千葉県九十九里浜平野の完新統の発達過程, 第四紀研究, 40, pp.223-233 .

- 87) 松崎達二, 梅田浩司, 石丸恒存, 湯佐泰久, 檀原 徹 (2001): 岩石の年代測定による基盤上昇速度推定の試み, 日本応用地質学会平成 13 年度研究発表会講演論文集, pp.203-206 .
- 125) 三箇智二, 藤原 治, 大森博雄 (2002): 日本列島における侵食速度の分布, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.111-115 .
- 137) 鈴木毅彦, Eden,D. , 檀原 徹, 藤原 治 (2001): 東北日本弧の大規模火砕流にともなう中期更新世広域テフラ - 八甲田国本テフラ, 日本第四紀学会 2001 年大会講演要旨集, pp.8-9 .
- 138) 鈴木毅彦, Eden,D. , 檀原 徹, 藤原 治 (2001): 東北日本の大規模火砕流は広域テフラを生産したか?, 月刊地球, 23, pp.610-613 .
- 140) 高木俊男, 柳田 誠, 小澤昭男, 藤原 治 (2002): 河岸段丘から推定した河床高度変化の歴史, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.82-85 .
- 141) 高木俊男, 藤原 治, 佐々木勝司, 川崎輝祐 (2002): 沈降量分布図, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.102-107 .
- 154) 山口正秋, 須貝俊彦, 大森博夫, 藤原 治, 鎌滝孝信, 杉山雄一 (2002): 濃尾平野における完新統の堆積速度とその時間変化, 日本地理学会発表要旨集, 61, p.136 .
- 155) 山口正秋, 須貝俊彦, 太田 剛, 大森博雄, 杉山雄一, 藤原 治 (2001): ポーリング・コアの総合解析にもとづく濃尾平野の堆積環境の推定, 日本地理学会 2001 年度秋季学術大会講演要旨集, p.90 .
- 158) 柳田 誠, 藤原 治, 佐々木俊法, 三箇智二 (2001): 日本の地滑り地形分布図 - 地形・地質との関連, 日本応用地質学会中部支部平成 13 年度支部研究発表会講予稿集, pp.11-14 .
- 159) 柳田 誠, 佐々木俊法, 藤原 治 (2001): 起伏量と谷密度による山地と丘陵との区分, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, Qm-P009 .
- 160) 米田茂夫, 伊勢明広, 藤原 治, 松末和之 (2002): 日本列島周辺における第四紀後期の気候および海水準の変遷, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.92-94 .

### (3) 火山活動に関する研究

- 5) 第四紀火山カタログ委員会 (2002): 日本の第四紀火山カタログ, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.57-62 .
- 6) 伊達二郎, 高橋 洋, 矢野雄策, 田中明子, 高橋正明, 大久保泰邦, 笹田政克, 梅田浩司, 中司 昇, 小松 亮 (2002): 全国地温勾配図の作成, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.67-72 .

- 12) 藤縄明彦, 林信太郎, 梅田浩司 (2001): 安達太良火山の K-Ar 年代 - 安達太良火山形成史の再検討, 火山, 46, pp.95-106 .
- 31) 石丸恒存, 角田地文 (2002): 日本列島における大規模火砕流の特徴と熱的影響解析, サイクル機構技報, No.14(2002.3), pp.161-170 .
- 41) 角田地文, 石丸恒存, 松崎達二, 鎌田浩毅, 檀原 徹 (2001): 日本列島における大規模火砕流の特徴と基盤岩への熱的影響解析, 日本応用地質学会中部支部平成 13 年度研究発表会講予稿集, pp.15-20 .
- 72) 小松 亮, 黒墨秀行, 福田大輔, 浅沼幹祐, 梅田浩司 (2002): 温泉地化学データベースの作成, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.77-81 .
- 73) 小松 亮, 福田大輔, 浅沼幹弘, 石丸恒存, 佐野有司 (2001): 紀伊半島における温泉ガスのヘリウム同位体比分布, 日本火山学会講演予稿集 2001 年度秋季大会, p.162 .
- 83) Martin,A.J., Takahashi,M. and Amano,K. (2001): West to east shift of the locus of magmatism of small monogenetic volcanoes in the first collided oceanic arc segment, south Fossa Magna, 日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.49 .
- 87) 松崎達二, 梅田浩司, 石丸恒存, 湯佐泰久, 檀原 徹 (2001): 岩石の年代測定による基盤上昇速度推定の試み, 日本応用地質学会平成 13 年度研究発表会講演論文集, pp.203-206 .
- 102) 向山 栄, 猪股隆行, 榎田祐子, 梅田浩司 (2002): 第四紀火山地形解析, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.63-66 .
- 126) 笹田政克, 矢野雄策 (2002): 地下の温度構造: 「日本列島地温勾配図」, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.10-12 .
- 143) 棚瀬充史, 水落幸弘, 小松 亮, 梅田浩司 (2002): 貫入岩体が地質環境へ与える熱的, 力学的影響の調査 - 成果と今後の課題 - , わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.73-76 .

#### (4) 地震・断層活動に関する研究 (陸域地下構造フロンティア研究を含む)

- 1) 200 万分の 1 活断層図編纂ワーキンググループ (2002): 200 万分の 1 日本列島活断層図, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.39-40 .
- 9) Debski,W. (2001): Tomographic imaging of thermally induced fractures in granite using Bayesian inversion, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, Sr-001 .
- 10) Debski,W. and Ando,M. (2002): Robust and accurate seismic (acoustic) ray tracer. Abst. 2002 Japan - Taiwan Joint Seminar on Earthquake Mechanisms and Hazards, Nagoya, Japan, January 27-28, 2002.

- 21) 羽佐田葉子,熊澤峰夫(2001): ブートストラップ法を用いた存否イベント解析の誤差評価,日本地震学会講演予稿集 2001 年度秋季大会, P101 .
- 22) ハスバートル,安江健一,竹内 章(2001): 跡津川断層中部で新たに確認された断層露頭とその意義,日本地質学会第 108 年学術大会講演要旨, p.270 .
- 23) ハスバートル,安江健一,竹内 章,那須忠利(2001): 跡津川断層中部で新たに確認された断層露頭(速報),活断層研究, 20, pp.46-51 .
- 30) 石丸恒存,藤原 治,郡谷順英,中司 昇,三箇智二,布施圭介(2001): 日本列島における地下地質情報(CD-ROM 版),サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-016 .
- 32) 伊藤久男,桑原保人,今西和俊,木口 努,西上欽也,水野高志,ハスバートル,竹内 章(2001): 発破による茂住祐延断層の微細構造: 概要,日本地震学会講演予稿集 2001 年度秋季大会, P054 .
- 40) 海域地質構造マップワーキンググループ(2002): 日本周辺海域の地質構造マッピング,わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集,サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.41-46 .
- 67) 河村知徳,太田陽一,荒井良祐,小先章三,平田 直,伊藤谷生,井川 猛,石丸恒存(2002): 野島断層 3 次元・2 次元高分解能反射法地震探査,わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集,サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.51-54 .
- 76) 國友孝洋,熊澤峰夫(2001): 回転型 ACROSS 震源装置の新制御システム,日本地震学会講演予稿集 2001 年度秋季大会, P100 .
- 77) 倉本真一,中尾征三,湯浅真人,村上文敏,長谷川功,中司 昇,高木俊夫,雷 興林(2001): 「日本周辺海域音波探査データベース(CD-ROM 版)」(編集・発行 地質調査所).
- 78) 黒瀬 歩, Brouard, B., 青木和弘,前川恵輔,川村 淳(2002): 間隙水圧の地震時動的挙動解析,わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集,サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.55-56 .
- 81) Mamada, Y., Kuwahara, Y., Ito, H. and Takenaka, H. (2001): 3-D finite-difference simulation of fault zone trapped waves - Application to the fault zone structure of the Mozumi-Sukenobu Fault, central Japan. 2001 Fall Meeting, Eos, Trans. Amer. Geophys. Union, 82, F886, S41A-0589, American Geophysical Union.
- 82) 儘田 豊,桑原保人,伊藤久男,竹中博士(2001): 3 次元差分法による断層トラップ波のシミュレーション - 茂住祐延断層への適用,日本地震学会講演予稿集 2001 年度秋季大会, C49 .
- 103) 中島崇裕,國友孝洋,熊澤峰夫,横山由紀子,茂田直孝(2001): 東濃電磁アクロスシステムを用いた連続送信実験,地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, Eq-P011 .
- 105) 中尾征三,湯浅真人,倉本真一,長谷川功,中司 昇,高木俊男,長谷川正,畑山一人(2002): 日本周辺海底地質図および音波探査プロファイルデータベース,わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, pp.49-50 .

- 106) 中田 高 (2002): 日本の活断層:「活断層詳細 GIS マップからわかること」, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.13-15.
- 111) 野原 壯, 田中秀実, 渡辺邦夫, 古川 昇, 高見 明 (2001): 茂住祐延断層帯周辺岩盤の水理地質学的特徴, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, Sm-007.
- 113) 奥野孝晴, 池田和隆, 中山文也, 石丸恒存 (2002): 活断層における空中物理探査, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.37-38.
- 117) 大澤英昭, 佐藤 努, 古屋和夫, 児玉敏雄, 酒井隆太郎 (2002): 断層活動に伴う周辺地下水流動系の変化に関する数値解析的検討 - 野島断層周辺の二次元浸透流解析 -, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.47-48.
- 146) 徳山英一, 海域地質構造マップ WG (2002): 日本列島の生い立ち:「日本列島周辺海域の構造発達史」, わが国の地質環境の長期安定性について - 天然事象研究シンポジウム - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN1400 2001-018, pp.16-21.
- 147) 徳山英一, 本座栄一, 木村政昭, 倉木真一, 芦寿一郎, 岡村行信, 荒戸裕之, 伊藤康人, 徐 垣, 日野亮太, 野原 壯, 阿部寛信, 坂井眞一, 向山建二郎 (2001): 日本周辺海域中新世最末期以降の構造発達史, 海洋調査技術, 13, pp.27-53.
- 149) 鶴我佳代子, 國友孝洋, 茂田直孝, 羽佐田葉子, 熊澤峰夫, 山岡耕春 (2001): 可搬型アクロス震源による地下構造探査手法の開発 ~ 第一報, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, Su-P003.

## 5. その他

- 25) 広城吉成, 神野健二, 佐伯和利, 池見洋明, 岩月輝希, 松岡信明, 岡村正紀, 田籠久也 (2002): 環境同位体による塩水化地下水の地球化学的考察, 水工学論文集, 46, pp.205-210.
- 29) 稲葉 薫, 登坂博之, 三枝博光, 徳永朋祥 (2001): 海域を含む大規模地表・地下水モデリングの試み, 日本応用地質学会平成 13 年度研究発表会講演論文集, pp.339-342.
- 33) 伊藤 茂, 徐 勝, 阿部雅人, 渡辺雅人, 有我真希, 岩月輝希 (2001): 東濃地科学センターにおけるペレトロンの現状, 第 14 回タンデム加速器およびその周辺技術の研究会報告書, サイクル機構技術資料, JNC TN7200 2001-001, pp.51-54.
- 38) 岩月輝希, 徐 勝, 伊藤 茂 (2001): 岐阜県東濃地域における C-14 を用いた研究の現状, 第 14 回タンデム加速器およびその周辺技術の研究会報告書, サイクル機構技術資料, JNC TN7200 2001-001, pp.108-111.
- 42) 核燃料サイクル開発機構 (2001): 第 14 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会報告書, サイクル機構技術資料, JNC TN7200 2001-001.

- 55) 核燃料サイクル開発機構 (2001): 平成 13 年度地層科学研究情報・意見交換会 - 要旨集, サイクル機構技術資料, JNC TN7410 2001-011 .
- 69) 小出 馨 (2001): 衛星データによる地すべり地の規模及び活動性の推定, 日本応用地質学会平成 13 年度研究発表会講演論文集, pp.183-186 .
- 71) 小出 馨, 杉原弘造, 長谷川健, 武田精悦 (2001): 花崗岩を対象とした深部地質環境の調査技術開発の課題と現状 - 測定データの品質保証の観点で構築した地下水調査法の提案, 資源と素材, 117, pp.785-793 .
- 92) Metcalfe, R. (2001): Geochemical approaches to evaluate groundwater flow system stability: Implications of research at Sellafield, UK and Äspö, Sweden, 地球惑星科学関連学会 2001 年合同大会予稿集, A0-005 .
- 93) Metcalfe, R. (2001): Some implications for site characterisation to Horonobe from experience at Sellafield, U.K. and Äspö, Sweden: Constraining groundwater flow models using hydrogeochemistry, 日本原子力学会 2001 年秋の大会予稿集, p.総 8 .
- 100) Möri, A., Geckeis, H., Missana, T., Guimera, J., Degueldre, C., Meyer, P., Ota, K., Papenguth, H., Alexander, W.R. and Hernan, P. (2001): The Colloid and Radionuclide Retardation Experiment (CRR) at the Grimsel Test Site - First evidences for the colloid-mediated radionuclide transport in a granitic fracture. Abst. 8th International Conference on Chemistry and Migration Behaviour of Actinides and Fission Products in the Geosphere (Migration '01) Bregenz, Austria, 16-21 September 2001, p.117.
- 107) 中田智浩, 徳永朋祥, 浅井和見, 三枝博光 (2001): 沿岸海底からの淡水性湧水の採水 - 黒部川扇状地沖合での例, 月刊地球, 23, pp.857-862 .
- 108) 中田智浩, 徳永朋祥, 浅井和見, 渡辺正晴, 茂木勝郎, 三枝博光 (2001): 海底からの淡水性湧水分布のマッピング - 黒部川扇状地沖合での検討, 日本応用地質学会平成 13 年度研究発表会講演論文集, pp.343-346 .
- 118) 太田久仁雄, Alexander, W.R. (2001): 結晶質岩を対象とした放射性核種の移行・遅延モデルの構築と妥当性評価 - Nagra/JNC 原位置試験研究の概要, サイクル機構技報, No.11(2001.6), pp.119-128 .
- 119) Ota, K., Alexander, W.R., Smith, P.A., Möri, A., Frieg, B., Frick, U., Umeki, H., Amano, K., Cowper, M.M. and Berry, J.A. (2001): Building confidence in radionuclide transport models for fractured rock: The Nagra/JNC Radionuclide Retardation Programme. Sci. Basis Nucl. Waste Manag. XXIV, pp.1033-1041.
- 120) Ota, K., Möri, A., Schild, M. and Alexander, W.R. (2001): Influence of the mode of matrix porosity determination on matrix calculations. Abst. 8th International Conference on Chemistry and Migration Behaviour of Actinides and Fission Products in the Geosphere (Migration'01), Bregenz, Austria, 16-21 September 2001, p.87 .
- 127) 笹尾英嗣, 宮田初穂 (2001): 第 14 回タンデム加速器及びその周辺技術の研究会, サイクル機構技報, No.12(2001.9), pp.149-150 .

- 129) 榎木義一 (2002): 深部地質環境の調査・解析技術の体系化に関する研究 (その 2), サイクル機構技術資料 (研究委託報告書; 社団法人システム総合研究所), JNC TJ7400 2001-011 .
- 145) 徳永朋祥, 浅井和見, 中田智浩, 谷口真人, 嶋田 純, 三枝博光 (2001): 沿岸海底下での地下水採取技術の開発とその適用 - 黒部川扇状地沖合での例, 地下水学会誌, 43, pp.279-287 .
- 151) 徐 勝, 星住英夫, 落合洋治, 青木治三, 宇都浩三 (2001): 新期雲仙火山の加速器放射性炭素年代, 第 48 回日本地球化学会年会講演要旨集, pp.150 .
- 152) 徐 勝, 星住英夫, 落合洋治, 青木治三, 宇都浩三 (2001): 雲仙火山科学掘削コア試料の AMS14C 年代, 第 14 回タンデム加速器およびその周辺技術の研究会報告書, サイクル機構技術資料, JNC TN7200 2001-001, pp.130-134 .
- 156) 山口卓哉, 小嶋 智, 矢入憲二, 中居 優, 中野勝志 (2001): 美濃帯メランジュの頁岩基質の透水性 - ボーリングコアを用いた室内透水試験, 日本応用地質学会中部支部平成 13 年度支部研究発表会予稿集, pp.1-4 .
- 161) 湯佐泰久 (2001): 自然から学ぶ放射性廃棄物処分の智慧 - 地質学の役割, 日本地質学会発行「明日を拓く地質学 - 現場に応える地質学へ」, pp.82-112 .